

新型 BMW X2 目次



新型 BMW X2

市場導入時のモデル・バリエーション 2

車両コンセプトとデザイン

プレミアム・コンパクト・セグメントにおける個性派 - これまで以上にスポーティーに、そして完全電動化 5

エクステリア・デザイン

ダイナミックなラインと自信に満ちた存在感を備えた本格的スポーツ・アクティビティ・クーペ 自信に満ちた存在感 10

インテリアと装備

スポーティーでプレミアムな雰囲気、印象的な機能性 14

駆動技術と充電技術

エフィシエント・ダイナミクスと電気自動車 BMW iX2 で最高のドライビング・プレジャーを 19

シャシー・テクノロジーとドライビング・エクスペリエンス

個性的なチューニングによるエキサイティングな俊敏性 24

BMW X2 M35i XDRIVE

Mらしさを表現：ダイナミック、パワフル、表現力豊か 29

ドライバー支援システム

快適性と安全性のための最先端技術 33

ディスプレイとオペレーティング・システム、コネクティビティ

新しい BMW オペレーティング・システム 9 は、BMW デジタル・プレミアム向けに発表 36

BMW の充電ソリューション

BMW iX2 用コネクテッド・ホーム・チャージングおよびプラグ&チャージ・マルチ契約 45

製品と生産における持続可能性

BMW ビークル・フットプリント、責任ある原材料調達、CO2 排出量に配慮した生産、最先端技術 BMW eDRIVE 技術 48

新型 BMW X2 市場導入時のモデル・バリエーション



BMW iX2xDrive30 :

第 5 世代の BMW eDrive テクノロジー、フロント・アクスルとリヤ・アクスルにそれぞれ 1 基の電気モーター装備、電動式全輪駆動 BMW xDrive、出力 : 230 kW/313 PS (4300 – 15200 min⁻¹ のとき) (テンポラリー・ブーストを含む)、
最大システム・トルク : 494 Nm (0 – 4900 min⁻¹ のとき)、
加速 [0 – 100 km/h] : 5.6 秒、
最高速度 : 180 km/h、
燃費 (WLTP に則った組み合わせ) : 17.7 – 16.3 kWh/100 km、
燃費 (NEFZ に則った組み合わせ) : –、
航続距離 : 417 – 449 km (WLTP に則った場合)。

BMW X2 sDrive20i :

3 気筒ガソリン・エンジン、48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジー、
7 速ステップトロニック・トランスミッション (ダブル・クラッチ 装備)、
トータル・ピークル・ドライブ :
出力 : 125 kW/170 PS、トルク : 280 Nm*、
BMW ツインパワー・ターボ・エンジン :
排気量 : 1499 cm³、
公称出力 : 115 kW/156 PS (4 700 – 6500 min⁻¹ のとき)、
公称トルク : 240 Nm (1500 – 4400 min⁻¹ のとき)、
電気モーター :
公称出力 : 14 kW/19 PS、
公称トルク : 55 Nm、
走行性能/燃費、エミッション :
加速 [0 – 100 km/h] : 8.3 秒、
最高速度 : 213 km/h、
燃費 (WLTP に則った組み合わせ) : 6.5 – 6.0 リッター/100 km、
燃費 (NEFZ に則った組み合わせ) : –、
CO₂ エミッション (WLTP に則った組み合わせ) : 148 – 136 g/km、
CO₂ エミッション (NEFZ に則った組み合わせ) : –、
排ガス規格 : Euro 6e

BMW X2 M35i xDrive :

直列 4 気筒ガソリン・エンジン、7 速ステップトロニック・トランスミッション（ダブル・クラッチ装備）、BMW xDrive、

排気量：1998 cm³、出力：221 kW/300 PS（5750 – 6500 min⁻¹ のとき）、

最大トルク：400 Nm（2000 – 4500 min⁻¹ のとき）、

加速 [0 – 100 km/h]：5.4 秒、

最高速度：250 km/h、

燃費（WLTP に則った組み合わせ）：8.0 – 7.7 l/100 km、

燃費（NEFZ に則った組み合わせ）：－、

CO₂ エミッション（WLTP に則った組み合わせ）：181 – 174 g/km、

CO₂ エミッション（NEFZ に則った組み合わせ）：－、

排ガス規格：Euro 6e

BMW X2 sDrive18d :

直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、7 速ステップトロニック・トランスミッション（ダブル・クラッチ装備）、

排気量：1995 cm³、出力：110 kW/150 PS（3750 – 4000 min⁻¹ のとき）、

最大トルク：360 Nm（1500 – 2500 min⁻¹ のとき）、

加速 [0 – 100 km/h]：8.9 秒、

最高速度：210 km/h、

燃費（WLTP に則った組み合わせ）：5.5 – 5.1 リッター/100 km、

燃費（NEFZ に則った組み合わせ）：－、

CO₂ エミッション（WLTP に則った組み合わせ）：145 – 133 g/km、

CO₂ エミッション（NEFZ に則った組み合わせ）：－、

排ガス規格：Euro 6e

*内燃機関駆動（公称値）と電気駆動（公称値）で構成されている。

走行性能、消費量、排出量および航続距離に関するデータはすべて暫定値である。

記載されているモデル・バリエーション、装備の範囲、技術データ、燃料消費率および排出ガス値は、すべてドイツ国内の自動車市場で入手可能な車両に関するものであり、他の市場ではデータに乖離が生じる可能性がある。寸法に関するデータはドイツにおける基本装備の車両のものであり、選択されたホイール／タイヤの種類ならびに特別装備品の構成に応じて変化する可能性がある。

燃料消費、CO₂ 排出量、電力消費およびEV 航続距離に関するデータは、規定の測定プロセス VO (EU) 2007 年/715 に従い、それぞれ適用される版により算出される。これらのデータはドイツにおける基本装備の車両のものであり、表示される範囲は選択されたホイール/タイヤのサイズや特別装備の違いを考慮したものである。

すべての数値は、新しい WLTP テストサイクルに基づいて算出されている。WLTP の数値は、CO₂ 排出量に基づく税金およびその他の車両に関する料金の評価基準として利用され、また必要に応じて車両固有の補助金の算出基準として使用される。WLTP および NEDC の測定方法に関する詳細については、www.bmw.de/wltp を参照のこと。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂ 排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂ 排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über den Kraftstoffverbrauch, die CO₂-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen) に記載されている。この資料はすべての販売店、DAT (Deutsche Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen, Germany) 、<https://www.dat.de/co2/>から無料で入手可能。



車両コンセプトとデザイン

プレミアム・コンパクト・セグメントにおける個性派 - これまで以上にスポーティーに、そして完全電動化

BMW X2 は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおけるスポーツ・アクティビティ・クーペ（SAC）車両コンセプトの基本となるモデルです。このモデルの第 2 世代は、これまでさらにその進歩的なキャラクターは、完全電動式バージョンである BMW iX2 では、自動走行および自動駐車向けシステムの豊富な選択肢が準備されていること、ならびに「クイック・セレクト」および BMW オペレーティング・システム 9 を装備した新型 BMW iDrive のイノベーティブなデジタル・サービスにも対応していることにも表れています。でよりも独自性が高まり、スポーティー、かつ進歩的な姿で登場します。寸法が大きくなったのがはっきりと感じられること、シルエットがクーペ型車両の特徴を強く打ち出していること、そして動きのあるラインが、この新型 BMW X2 の成し遂げた開発における飛躍的な進化を、エクステリアのデザインにおいて明確に主張しています。

電動化モデルも登場したことで、新型 BMW X2 はブランドのスポーツ・アクティビティ・クーペの世界への参入を確実に成し遂げたと言えます。一連の BMW X モデルの、最新にして、かつ特別に強く心躍らせるモデルとして、BMW X2 は若い世代の進歩的なライフスタイルを体現しています。また、完全電動型 BMW iX2 xDrive30 から BMW M Automobil BMW X2 M35i xDrive までのモデルに、すでに販売開始時点から幅広いドライブのバリエーションが展開されていることによって、このモデルは上記の他のターゲットグループに対しても魅力的な存在となっています。新型 BMW X2 は、全世界で 38 万台を販売した先行モデルの成功実績をさらに明確に上回り、それによってこのブランドの、成長著しいコンパクトなスポーツ・アクティビティ・ビークルおよびスポーツ・アクティビティ・クーペのセグメントにおけるリーダーとしての位置を強固なものにするために、理想的な要件を備えています。

新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 のワールドプレミアは、2023 年 10 月 26 日に開幕するジャパン・モビリティ・ショー（かつての東京モーターショー）でご覧頂けます。コンパクトな SAC の世界市場への導入は、2024 年 3 月からになります。販売開始時においては、BMW iX2 xDrive30 および BMW X2 M35i xDrive の他に、ガソリン・エンジン車およびディーゼル・エンジン車も提供されます。2024 年夏には早くも第 2 バージョンの完全電動型モデルおよびその他のディーゼル・エンジン型モデルが続きます。

電動式モビリティの拡がりに向けてのさらなる拍動

新型 BMW X2 は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおいて、その競合モデルに対してデザインとテクノロジーに関して明らかに先を行く、心揺り動かす個性豊かなモデルとしての役割を演じています。このモデルは、効率性の高いガソリン・エンジンおよびディーゼル・エンジン、ならびに完全電動型ドライブなどを装備する異なるモデル・バージョンを、1 本の製造ラインで組み上げることができるよう柔軟性に富んだ車両構造をとっています。この新型 BMW iX2 によって、BMW グループは電動式モビリティの拡がりに向けてさらなる拍動を起こします。当社は関与するすべての車両セグメントにおいて、完全電動型モデルを少なくとも 1 点展開しています。2025 年末までに、BMW グループとして合計 200 万台を越える完全電動型車両を販売する考えです。そして、2030 年には、BMW グループの世界市場で販売する車両の 2 番目のモデルにはすべて完全電動型ドライブを備えるようにする考えです。

新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 は、BMW グループのレーゲンスブルク工場において、ひとつの製造ラインで柔軟に、全世界の市場に向けて製造されています。また、完全電動型バージョンのモデル向けの高電圧バッテリーも、サステナブルなモビリティのために潤沢な投資を行ったこの拠点で製造されています。レーゲンスブルクでは、新型 BMW X1 および新型 BMW iX1 も製造されています。1 営業日ごとにラインを流れて行く車両の数は最高で 1 000 台にも上ります。BMW グループのレーゲンスブルク工場は、量産車の製造ラインにおいて、塗装済み車両表面部材の点検、加工、および市場導入向けの完全デジタル化および完全自動化されたプロセスに、AI（人工知能）で制御されたロボットを全世界の自動車産業で初めて導入した工場です。これによってこのオーバープファルツ地方の工場すなわちレーゲンスブルク工場は、デジタル化された、インテリジェントなネットワーク化された工場（BMW iFactory）への歩みを一歩踏み出したのです。

スポーティーな雰囲気、現代的で広々としたインテリア

新型 BMW X2 のプロポーション、ラインの流れ、そして面のつくりかたに、スポーティーさ、個性、そして自信に満ちたたたずまいが現れています。独自性豊かな外観は、コンパクトなスポーツ・アクティビティ・ビークルである BMW X1 と明確に差別化された特徴を醸し出しており、BMW カーブド・ディスプレイを含む、現代的なデジタル式のイノベーションで特徴付けられたコックピット、ならびに内部空間の広々としたスペースの取り方と良く調和しています。

先行モデルと比較すると、新型 BMW X2 は、車体全長が 194mm 長くなって、4554mm になっています。これによってこの SAC は新型 BMW X1 よりも 54mm 長くなっています。ホイールベースは 22mm 長くなって 2692mm となりました。車体幅は 21mm 広くなって 1845mm になっています。フロントおよびリヤともに車輪間の距離（輪距）が大きくなり、ホイール径のラインも大きくなったことによって、新型 BMW X2 は幅が広がったことがはっきりと見て取れて、力強い路面上のたたずまいを見せてくれます。車高は先行モデルよりも 64mm 高くなって、1590mm になりました。

この寸法の変化によって、フロント部は垂直でリア部向かって大きく流れて行くようなクーペ独特のルーフ・ラインという、BMW の SAC ならではの特徴を持つダイナミックで伸びやかなプロポーションが生まれました。

新型 BMW X2 の室内には、高級感溢れるシートが 5 つ備えられています。運転席、助手席、そして後部座席に着座する人はそれぞれ、肩と肘の部分のスペースが大きくなったことを快適に感じるでしょう。後部座席はこれまでよりも 25mm 後ろに下がって、膝の部分にも豊かなスペースを提供します。リヤシートのバック・レストは標準仕様で 40 : 20 : 40 の比率で分けられており、前に倒すこともでき、オプションでその傾斜度を変更することもできます。これによって、着座時の快適性を高めたり荷物輸送のキャパシティを拡げたりすることができます。

すべてのシートに着座している際の積載容量は、新型 BMW X2 では 560 リッターです。この値は、先行モデルのものよりも 90 リッター増加しています。ラゲージ・ルーム容量は、最大で 1470 リッターにまで拡張することができます。これは先行モデルよりも 115 リッター多くなっています。標準装備で 48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジーを搭載し補助バッテリー1 基を搭載した BMW X2 sDrive20i の場合、ラゲージ・ルーム容量は 515 リッター～1400 リッターとなります。完全電動型の BMW iX2 の場合、この値は 525 リッター～1400 リッターです。

新型 BMW X2 には、オプションでトレーラー装置を取りつけることもできます。これは現在、ボタン操作および電気動作で出し入れすることができるようになっています。許容トレーラー荷重は、モデルのバージョンに応じて、最大で 1800kg となっています（BMW iX2 は 1200kg）。

BMW エフィシエント・ダイナミクス：サステナビリティの向上に向けての全体的なアプローチ

新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 の進歩的でプレミアムな特徴は進歩したサステナビリティの観点と通じるものがあります。資源の保護および CO2 エミッションの削減に向けての努力においては、開発と材料の調達から製造工程、車両利用のフェーズから最終的なリサイクルに到るまでの車両のライフサイクル全体が考慮されます。

自動車業界において他に類を見ないテクノロジー・パッケージである BMW エフィシエント・ダイナミクスは、車両利用フェーズにおけるエネルギーの使用量を最適化します。これには、車両の駆動の他、エネルギー・マネジメント、走行抵抗、空気力学的特性、およびインテリジェントな軽量化構造による重量の削減などが含まれます。

こうすることで、エネルギー消費量と CO2 エミッションの削減を、「駆け抜ける喜び」の向上と結びつけることが可能になります。

インテリジェントな軽量化構造、最適化されたドライブ・ダイナミクス特性

ボディおよびシャーシ構成部品の重量を最適化して製造することは、新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 の効率を向上させるだけでなく、その敏捷性にもメリットを与えています。材料をインテリジェントなやり方で混合することで、車両重量の最適化と、剛性および衝突時の安全性という観点でのボディ特性の改善とを同時に実現しています。熱処理によって成型したスチールとアルミニウム合金とで形成された安全乗員セルは、多相鋼を加えて使用することで強化されています。BMW iX2 の車両前部は、シアーフールドを追加で設け、負荷を受け止める構成部品として設計された高電圧バッテリーのハウジングと強固に接続することで、ボディの剛性を高めています。さらに、完全電動型モデルには、スプリング・ストラットと相互に接続する特殊なドライブ・ダイナミクス・ブレースが備えられています。これらによって強化された捻れ剛性は、走行レーンの保持やカーブ進入時の自発的応答を向上させます。

アルミニウム製のエンジン・フードを用いることで、車両前部の重量が削減され、それによって敏捷な走行挙動をとるのに役立っています。この他、フロント・ドアおよびリヤ・ドアにプラスチック製の軽量キャリアを用いることでも重量を最適化しています。亜鉛マグネシウムめっきを施したスチール構成部品によって、ボディ保護の最適化がなされています。

また、空気力学的特性の最適化を行ったので、新型 BMW X2 の効率性とドライブ・ダイナミクスが向上しています。BMW iX2 では BMW のキドニー・グリルが閉じられており、それによって空気抵抗が削減され、このモデルの電力消費と航続距離にメリットが生じています。このほかのすべてのモデルには、冷却用空気の必要度と周辺気温とによって制御することのできる、アクティブ（能動的）な、BMW キドニー・グリル用エア・フラップ制御システムと、フロント・エプロン下部にエア・インレットが備えられています。このほかさらに、フロント・エプロンの外側にはエア・カーテンが備えられ、ドア・ハンドルは車体表面と面一になるように組み込まれ、アウター・ミラーやリヤ・ライト、アルミニウム・ホイールにも空気力学的に最適化が行われ、各モデルに特化したリヤ・スポイラーが取り付けられています。さらに、リヤ・エプロンの下部の広い面を持つディフューザーと、正確に定義されたラム・エア・リップを持つ、ほとんど全体が閉じられた形状のアンダー・フロアが、計画的なエア・フローの構築に貢献しています。

また、BMW iX2 の高電圧バッテリーのハウジング表面も滑らかに仕上げられているので、空気抵抗の削減に役立っています。これらの対策によって、モデル・バージョンに応じてトータルで空気抵抗係数（CW 値）が最高 0.25 ポイント（BMW iX2）または 0.27 ポイント（BMW X2）改善されています。

ボディおよびアタッチメントによって引き起こされるウインド・ノイズも削減されています。ボディの、ドアおよびテール・ゲート部におけるシール・コンセプトの最適化と、アウター・ミラーのデザインを新しくしたことによって、音響面での快適性が先行モデルよりも改善されています。音響面での最適化が行われた

タイヤを採用することによって、転動ノイズが削減されています。この他、エンジン・マウントとトランスミッション・マウントの最適化によって、振動の伝達が少なくなり、これもまた走行快適性の向上に貢献しています。また、BMW X2 では内燃機関エンジンのスタート時および停止時の振動が明らかに減少しているのがわかります。オプションの防音ガラスを装備することによって、車室内では外部からのノイズがさらに削減されます。

共同のハウジングに配置された、電気モーター、パワー・エレクトロニクス、およびトランスミッションなどのコンポーネントの、モデルに特化した据付けと最適化された格納方法によって、BMW iX2 の音響面での快適性が向上しています。この他このモデルの冷媒コンプレッサは、防音処理が施され二重にデカップリングされる形で据え付けられています。

最大限の乗員保護のために組み込まれた総合コンセプト

パッシブ・セーフティの領域では、包括的な総合コンセプトが衝突時にさまざまな方法で最大限の乗員保護を提供します。BMW X2 が販売されるあらゆる自動車市場向けの関連するクラッシュ・テスト手順の要件を考慮しています。これには、極めて剛性の高い乗員セルや高負荷に耐えるキャリア・システムなどの他に、安全対策のための電子システムが組み込まれています。この電子システムは、衝突時にその種類や激しさに応じて、正しい順序、最適なタイミングで、必要とされるレストレイント・システム機能を作動させます。

このシステムには、3 点支持式自動動作型シート・ベルトがすべての座席に、そしてフロント・エアバッグ、サイド・エアバッグ、およびヘッド・エアバッグが装備されています。側面衝突時の乗員保護向けには、第 1 列目シートの運転席と助手席との間にインタラクション・エアバッグが作動します。歩行者保護の最適化に向けて、新型 BMW X2 には、アクティブ・エンジン・フードが標準装備されています。

点火式アクチュエーターを使って、衝突時にエンジン・フードが歩行者とともに持ち上げられ、それによってエンジン・フードの変形の余地が増加し、歩行者をエンジン・ルーム内の固いコンポーネントとの衝突から護ります。

フロントおよびリヤ・バンパのクロス・ビームが強化され、BMW X2 の高電圧バッテリー用ハウジングの構造が最適化されたため、衝突時に作用する力からバッテリーが護られます。衝撃を吸収する外側サイド・メンバと極めて剛性の高いハウジング・クロス・メンバとによって、バッテリー・セルに衝突の衝撃が及びにくくなっています。広範なクラッシュ・テストとシミュレーションによって、高電圧コンポーネントの安全性は、十二分に証明されています。このときに適用される BMW グループが定義した安全標準は、法律で定められた要件よりも遙かに厳しいものとなっています。また、この安全コンセプトには衝突検知のためのセンサシステムが含まれており、これが高電圧システムをシャットダウンします。さらに点火式遮断エレメントが、高電圧バッテリーを車載電気システムから遮断します。



エクステリア・デザイン

ダイナミックなラインと自信に満ちた存在感を備えた本格的スポーツ・アクティビティ・クーペ 自信に満ちた存在感

個性的で表現力豊かなデザインが、新型 BMW X2 をプレミアム・コンパクト・セグメントの信頼性の高いスポーツ・アクティビティ・クーペ (SAC) として主張します。この新型モデルは、ダイナミックで伸びやかなラインの流れと、デザイン的な要素の少ないゆったりとした面の取り方が特徴です。リヤ方向に向かって連続的に流れるようなルーフ・ラインが、クーペらしさを演出し、フラットなシルエットを形づくりします。垂直に立ち上がるフロント部、広いホイール・ハウス、力強いリヤ部が、自信に満ちたたたずまいを醸し出します。

その明るく快活なエクステリアのデザインは、新型 BMW X2 の独自性豊かな車両の特徴を強調しています。どの観点からも、コンパクトなスポーツ・アクティビティ・ビークル (SAV) である BMW X1 との差別化が明らかになっています。スポーティーさや心躍らせるような雰囲気他に、この新型 BMW X2 のデザインは何よりも高級感溢れるスタイルが表現されています。プレミアム・コンパクト・セグメントの最初のモデルとして、この新型の SAC はオプションで照明付きの BMW キドニー・グリル・アイコニック・グローを装備することができます。モデル特有のヘッド・ライトと新しいデザインのリヤ・ライトは、新型 BMW X2 の個性的なステータスを強調します。

パフォーマンスの豊かな車両である BMW X2 M35i xDrive ならではのデザイン特徴が、ダイナミックなドライビング・プレジャーをさらに表現します。BMW iX2 を含むその他のあらゆるモデル・バージョン向けに、M スポーツ・パッケージを提供しています。これは同じく空気力学的に最適化されたエクステリアのデザインを持っています。さらに、BMW のコンパクト・モデルには初めて、21 インチサイズのアルミニウム・ホイールが提供されます。

独自性のあるデザイン特徴を持つ強いキャラクターのフロント部

新型 BMW X2 の特有のフロント部の形状は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおけるスポーティーさと個性の豊かさの、間違えようのないアクセントとなっています。ここで中心的な役割を演じているのは、新しい解釈が施された、ブランドならではの特徴である BMW キドニー・グリルとダブル・ヘッド・ライトです。BMW キドニー・グリルの 2 つの隣接した要素は、2 つ並んだ状態でほぼ 6 角形の輪郭を取っています。この特徴ある形状は BMW X4 および BMW X6 のモデルのフロント部デザインに通じるものであり、このコンパクトな新型モデルをスポーツ・アクティビティ・クーペの一員として組み入れています。

BMW キドニー・グリルの形状は、3 次元的にモデル化された縁取りで強調されています。オプションの照明付きの BMW キドニー・グリル・アイコニック・グローブが、特に夜に特徴豊かで活動的なイメージを演出します。同様にモデル特有の、スポーティーなハニカム構造のエア・インレット・グリルは、光沢のある黒色で仕上げられています。BMW iX2 の閉じられた BMW キドニー・グリルの内部は極めて繊細な構造を持ち、その表面はクリスタル・シルバーに仕上げられています。

ヘッド・ライト・ユニットは、ホイール・ハウスに深く食い込むようなデザインです。新型 BMW X2 には、ロー・ビームおよびハイ・ビーム用に LED ヘッド・ライトが標準装備されています。それぞれ 2 個装備されている縦型のライトと矢印に似た形をしたライトを持つ LED ユニットは、デイ・ドライビング・ライトとウインカーの役割を担当します。グレア・フリーのマトリクス・ハイビーム付きのアダプティブ・ヘッド・ライト、ならびに都市部走行用のライト、アウトバーン走行用のライト、および悪天候時用ライトなどは特殊装備として提供されます。これらはさらに青色のインレイおよびターニング・ライト機能を備えています。マトリクス機能によって、ハイ・ビーム用エレメントを意図的に拡散することで、対向車両などに対する幻惑効果を回避することができます。

ロー・ビームの都市交通における光の分布は、走行レーンの側面の照明を最適化しており、アウトバーン走行用ライトは照明範囲を延長します。視界不良時のために特別に設計されたロー・ビームでの光の分布は、悪天候時照明として使用できます。これは、これまではフォグ・ライトによって実行されていた機能です。これによって、フロント・エプロンのエリアに、ゆったりとした面の取り方をすることができるようになります。この他のオプションとしては、M シャドウ・ライン照明を選択することができます。

新型 BMW X2 のダイナミックな印象は、下部エア・インレットによっても強められます。これは、低い位置に設計されており、さらに側面からは大きく内側に入り込んだ位置にあります。外側のエリアには、エレガントな翼のような形状のインレイが備えられ、走行風をフロント・エプロンのエア・カーテンにまで導きます。特徴あるヘッド・ライト、個性豊かな BMW キドニー・グリル、ならびに BMW X1 と比べて明らかに傾斜が急になったフロント・ウインドウなどとの組み合わせで、車両の幅広さと安定したたたずまいを強調する、フラットで力強いフロント・ビューが生まれます。また、新型 BMW X2 のフロント・フードもモデル特有の形状を持ち、たいへんダイナミックな輪郭を形成しています。

クーペならではのシルエット、特徴あるショルダー部

新型 BMW X2 の個性豊かなプロポーションは、側面から見てこそ際立ちます。垂直に立ち上がったフロント、長いエンジン・フード、傾斜の急な A ピラー、およびリヤ方向に向かってダイナミックに流れるルーフ・ラインによって、BMW のスポーツ・アクティビティ・クーペならではのシルエットが生まれます。大きなホイール、およびボディ全体を走行レーンと結びつけるようなボディ周囲に施された黒色の縁取りによって、コンパクトな BMW X モデルの頑丈な特徴がさり

げなく表現されています。

ボディ表面がすっきりとしてゆったりと取られていることも、新型 BMW X2 の力強いたたずまいを形成するのにひと役買っています。ボディ表面はダイナミックで伸びやかな、シンプルなラインで構成されています。ドア・ハンドルはボディ表面と面一になるように組み込まれています。平坦な外観を示すサイド・ウインドウは、車両後方エリアにおいては、このブランド特有のホーフマイスター・キंकによって個性的なデザインが施されています。新型 BMW X2 にはオプションで、表面と面一のルーフ・レールが光沢のある黒色の仕様で提供されます。

フロント・ホイール・ハウスだけではなく、何よりもリヤ・ホイール・ハウスが大きく拡張されています。リヤ・ウインドウ領域での特徴ある引き込みとの組み合わせで、力感溢れるショルダー部が形成されています。後方寄りに設置された乗員セルとともに、このショルダー部はすでに停止している姿からその敏捷性と推進力をうかがい知ることができます。

個性的なライトを備えた力強いリヤ部

リヤ・ビューにおいても、大きく拡張されたホイール・ハウスと力強いショルダー部とが、新型 BMW X2 のたたずまいの特徴を醸し出しています。側面の個性的なラインがリヤ部まで続き、それによってボディ各部がスムーズに繋がる印象が生まれています。ラインの流れと面の構成は、丁度リヤ・ライトの輪郭と同様に、水平方向に向かっています。これによって、リヤ部の幅広さと力強く路面に立つボディのたたずまいが強調されます。

強く傾斜したリヤ・ウインドウの下部では、特徴あるガーニー式スポイラーがリヤ・アクスル部分に偏流を生成します。リヤ・スポイラー下部の中くぼみ形の表面が、3次元効果を生みさらなる応力が生成されます。新型 BMW リヤ・ウインドウ有のリヤ・エプロンは、黒色のボディ側面の縁取りに繋がる、ナンバープレート・キャリアも備えられている表面と、その下にある車両と同色に塗装されたセクションによって構成されています。エア・アウトレットおよび垂直型リフレクターのスタイルのインサートによって、さらにスポーティーなアクセントが生まれます。エキゾースト・システムのエンド・パイプは、新型 BMW X2 M35i xDrive 以外のあらゆる内燃機関バージョンでは、外からは見えないようにリヤ・エプロンの内部に組み込まれています。

全く新しいモデル特有のデザインによって、コンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペのリヤ・ライトの形状は、個性豊かなものになっています。このライト・ユニットは2分割型で、側面またはテール・ゲート部分にせり出すような形を取っています。照明機能にはすべて LED テクノロジーが用いられています。矢印様の形で外側を向いているテールライト向けの LED エレメントとウインカーは、ヘッド・ライト内部の形状を採用しています。リヤ・ウインドウの上部にはハイマウント・ブレイキ・ライトが取り付けられています。

オプションの M スポーツ・パッケージの多様な外装色

新型 BMW X2 のボディ塗装には、プレーン・カラー2 色とメタリック・カラー 11 色から選択することができます。この中には、新色ファイヤ・レッド・メタリックも含まれています。さらに、BMW インディビデュアルのフローズン塗装が2 色、ならびに BMW インディビデュアルの特殊塗装から多くの色が提供されています。

標準仕様の代替選択肢としては、新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 向けに、M スポーツ・パッケージが提供されています。スポーツ・アクティビティ・クーペのダイナミックな方向性をさらに強調するために、M スポーツ・パッケージには、大きな、独立してフロント・エプロンの側面寄りに取り付けられているエア・インレット、車両と同色に塗装されたボディ下部の縁取り、M パッケージ特有の側面ロッカー・パネル、M パッケージの光沢車道ライン、およびディフューザ・エレメントを組み込んだ特徴あるリヤ・エプロンなどが備えられています。M スポーツ・パッケージのその他の構成要素としては、アダプティブ M シャーシ、および 19 インチのダブル・スポーク・デザインの M アルミニウム・ホイールなどがあります。M スポーツ・パッケージ特有のインテリア装備には、スポーツ・シート、アルカンタラを用いたダッシュボード、黒色（アンスラサイト）の天井、およびロッカー・スイッチ付きの M レザー・ステアリング・ホイールがあります。

その他のオプションとしては M スポーツ・パッケージ・プロが提供されています。これは M スポーツ・パッケージのコンテンツを補完するもので、主なものでは、拡張された M 光沢シャドウ・ライン、M シャドウ・ライン照明、M リヤ・スポイラー、赤色に塗装されたブレーキ・キャリパ付きの M スポーツ・ブレーキ・ユニット、ならびに M 安全ベルトなどがあります。



インテリアと装備

スポーティーでプレミアムな雰囲気、印象的な機能性

スポーティーなアクセントを持つ現代的なプレミアム・アンビエントと先行モデルとの比較において明らかに拡張された車内スペースが、新型 BMW X2 をお使いになる皆様をお待ちしています。高級感溢れる材料、正確な加工処理、数多くのイノベーティブなスタイルに仕上げられたディテールは、この新世代モデルが成し遂げた進歩の証です。ゆったりとした室内の快適さとはっきりと感じられる後部座席の脚空間の拡張に加え、明らかに拡張され自由に使用することのできるラゲージ・ルームが、このコンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペに高性能な機能を与えています。

新型 BMW X2 のインテリアの進歩的な印象は、何よりもインジケータ・システムおよび操作システムの基本的なところから開発が加えられたことによるものです。BMW オペレーティング・システム 9 に基づいた「QuickSelect」を備えた新型 BMW iDrive は、タッチパネルおよび音声操作によって操作することができる、BMW カーブド・ディスプレイおよび BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントによって、ドライバー主体の新しいコックピット設計をもたらしました。一貫したデジタル化を推し進めたことによって、直観的な操作のために必要な物理的なボタン、レギュレーター、およびスイッチ類を大幅に削減することができました。

標準装備の拡張、意図された個別化。

先行モデルとの比較において、標準装備が大幅に拡張されたことは、新型 BMW X2 の特徴が成熟したことを示すものです。標準装備されているのは、ナビゲーション・システム、2 ゾーン対応空調システム、数々の現代的なドライバ・アシスト・システム、バック走行カメラを含むパーキング・アシスト、および数々のイノベーティブなデジタル・サービスなどで、これらは、ブランド特有の駆け抜ける喜びと同様に快適性を向上させるものです。

また、自動動作のテール・ゲートも標準装備されています。オプションのコンフォート・アクセス機能と組み合わせると、触れることなく開閉することができます。M スポーツ・パッケージおよび M スポーツ・パッケージ・プロを超えてさらに、新型 BMW X2 向けに新しくまとめられた装備パッケージが提供されます。これは、意図的に個別化を行うものです。

進歩的なアンビエントの中での卓越したドライビング・プレジャー

スポーツ・アクティビティ・クーペならではの形で、ドライビング・プレジャーを新型 BMW X2 で、高いシート・ポジションとドライバー主体のコックピット設計によって味わうことができます。路上での出来事を良く見通すことができ、あらゆるインジケータおよび操作エレメントの配置が人間工学的に最適化されていることによって、スポーティーにして卓越したドライブ・エクスペリエンスをいつでもお楽しみ頂けます。

現代的なインテリアのデザインは、数多くのディテールにおいて BMW iX の車室内コンセプトを踏襲しています。基本的な特徴としては、BMW カーブド・ディスプレイを乗せる台としても機能する平坦なダッシュボード、および操作パネルを組み込んだ運転席と助手席との間にある跳ね上げることのできるアームレストなどがあります。BMW カーブド・ディスプレイは、フレームのない少しドライバーの方に湾曲したガラス表面を持っており、これによって高級感のある現代的なアクセントを演出します。これは、特に強くアクセントアイテムとして打ち出されている、コックピット領域をドアに到るまでをカバーするブレースにはめ込まれています。

その下には、スリムなダッシュボードがあり、水平方向の幅広い装飾面によって、車室内の幅広さを強調しています。個性的な演出のために、インテリア・トリムは 5 種類のバリエーションから選択することができます。その中には新しい仕様の、グラフィック・アクセントのついたアルミニウムと、M スポーツ・パッケージとの組み合わせにおいてのみ) 明色のアルミニウム・ヘキサキューブ等があります。オプションのインテリア・トリムはすべて、アンビエント・ライトと組み合わせられています。

センター・コンソールのエリアでも、インテリア・デザインの進歩的なスタイルが採り入れられています。センター・コンソールに組み込まれている操作パネルには、新しく採り入れられた変速スイッチの他、車両機能を制御するための高級感溢れる組み込み型スイッチ類が備えられています。スイッチ類には、スタート/ストップ・スイッチ、オーディオ・システムの音量調節スイッチ、およびハザード・ランプ・スイッチなどが含まれています。その他、パーキング・ブレーキ、マイ・モードおよびパーキング・アシストを、操作パネルの該当するスイッチを介してアクティブにすることができます。

センター・コンソールの前方は、中央のエア・アウトレットの真下に、2 つのカップ・ホルダーと両側を間接照明されたスマートフォン・スタンドのためのスペースがあります。可動式のバーを使って携帯電話をそこに立てて運転席および助手席からよく見える状態で安置し、無線で充電することもできます。この他、中央のアームレスト下部にも、ものを収納することができます。

新しく開発されたシートによる快適性と横方向安定性の最適化

新しく開発されたコンパクトな SAC のシートは、高級感溢れるたたずまい、スポーティーなカーブ走行時における抜群の横方向の安定性、長距離走行の快適性の向

上、そして機能の拡張などを特徴としています。これは、特徴あるチーク部とショルダー部のデザイン、ならびにシートの傾きおよび深さの調節ができることなどを特徴とする、オプションのスポーツ・シートと同様、標準仕様にも適用されています。特殊仕様としては、シート・ヒーターの他に、標準仕様にもスポーツ・シートにもシートの電動式調整機能があります。これは、長手方向のシート位置および座面の高さ、ならびに座面とバック・レストの傾斜を調節することができ、運転席側にはシート調整の記憶機能も備えられています。さらに標準仕様にもスポーツ・シートにも、バック・レストにマッサージ機能付きのランバー・サポートが備えられています。

標準仕様の黒色（アンスラサイト）生地の上張りとして、ヴェガンザ・パーフォレーテッドおよび魅力的なステッチが施されたレザー・ヴェルナスカのバリエーションが用意されています。これにはそれぞれ、ブラック、モカ、オイスターの各色が用意されています。この他、ヴェガンザの上張りには2種類のバイカラー仕様が用意されています。赤／クロのバイカラーの他、BMW X2 および BMW iX2 には、新しいバリエーションのアトラス・グレー／スモーク・ホワイトを選択することもできます。M スポーツ・パッケージの仕様レンジには、青色のコントラスト・ステッチの入ったアンスラサイトにヴェガンザ／アルカンタラ仕様の、またはオプションで独特のダイヤモンド・ステッチの入ったレザー・ヴェルナスカ仕様のスポーツ・シートが含まれます。オプションで、レザーの風合いと特徴的なコントラスト・シームを持つヴェガンザの上張りを、ダッシュボードおよびドア・シルに選択することもできます。

新型 BMW X2 の後部座席には、高級感のあるシートが3席備えられています。先行モデルと比べて、その快適性は明らかに向上しています。外側の座席には、ISOFIX チャイルドシートの固定具が組み込まれています。中央の座席は、バック・レストに組み込まれたカップ・ホルダー付きのアームレストを倒して使用することができます。

2 ゾーン対応の空調システムおよびナビゲーション・システムを標準装備

2 ゾーン対応の空調システムは、自動ドライビング・ライト制御機能付きレイン・センサと同様、新型 BMW X2 の標準装備に含まれています。このエア・コンディショナーは、運転席側と助手席側とで、異なった温度設定に対応することができます。音声制御または制御用ディスプレイのタッチ機能によって操作することができます。エア・コンディショナーのインテリジェントな制御は、直射日光を考慮し、車両の装備仕様に応じてシート・ヒーターやステアリング・ホイール・ヒーターを温度調節に採り入れます。平坦形状のA・アウトレットは、フレッシュ・エアを均等に室内に供給します。

サイド・エア・アウトレットはAピラーに組み込まれています。後部座席の乗員に対しては、運転席用および助手席用センター・アームレストの背面に、別個のエア・アウトレットが組み込まれています。

BMW iX2 の空調システムは極めて効率的な、ヒート・ポンピング・テクノロジー

によって動作します。完全電動型モデルにはこの他、停止時空調機能が標準装備されています。これによって、走行開始前の段階で車室内を暖房または冷房することができます。

新型 BMW X2 のすべてのモデル・バージョンには、ブルートゥース・インタフェースが1つ、USB-C コネクタが4つ、センター・コンソールとラゲージ・ルームにそれぞれ1つの12V コネクタが標準装備されています。同様に標準装備されている BMW ライブ・コックピット・プラスの機能レンジには、クラウドベースのナビゲーション・システムである BMW マップ、ならびに6基のスピーカーおよび100ワットの増幅性能を備えたオーディオ・システムが含まれます。オプションのハーマン・カードン・サウンドシステムによって、音源数が12に、そして増幅性能が205ワットに増加します。ドア・トリム内に組み込まれた高音スピーカーは、高級感のあるステンレス・カバーが施されています。

広範に個別化が施されたプレミアム・アンビエント

標準仕様のスポーツ型レザー・ステアリング・ホイールの最新モデルは、パールグロス・クロムの極めて高級感のある仕上げのアクセント・ブレース、大型のサム・レスト、およびマルチファンクション・スイッチを備えています。新型 BMW X2 は M スポーツ・パッケージとの組み合わせで、極めて特徴の強い3スポーク・デザインおよびロッカー・スイッチ付きの M ステアリング・ホイールを備えています。ステアリング・ホイール・ヒーターは、それぞれ特殊装備として提供されています。

オプションのパノラマ・ガラス・サンルーフを装備すれば、新型 BMW X2 はその外観だけではなく、車室内のアンビエントにも特別な高級感のある印象が生まれます。その暗色に仕上げられたガラス表面は、フロント・ウインドウ・ガラスに直接繋がっており、そのままりや部の後方まで続いています。ルーフのごく僅かな範囲が車体色に塗装されているだけです。左右方向においても、このパノラマ・ガラス・サンルーフはルーフ・フレームに直接繋がっており、均質で高級感のある外観が生まれています。縦712mm 横702mm の大きな光透過エリアを持つ、ボディに固定されたモジュールとして仕上げられたパノラマ・ガラス・サンルーフが車室内に光に満たされた雰囲気を形成します。マルチ・レイヤー構造の電動型ブラインドが、必要に応じてインテリアに優しい陰をつくれます。

標準装備されている車室内照明は、レッグ・ルーム、ドア・オープナー、センター・コンソール・エリア内のトレイ、ならびに読書灯、天井照明、および乗降支援灯などが含まれます。オプションのアンビエント・ライトを使えば、大変雰囲気のあるインテリア照明をお楽しみ頂けます。照明範囲、照明輝度、および照明色を、iDrive メニューから構成することができます。この機能レンジには、ダイナミック室内照明も含まれます。これは、点滅によって電話の着信やエンジン動作時にドアが開いたことなどを知らせるものです。

オプションのプレミアム・パッケージの構成要素には、さらにミラー・パッケージ

も含まれます。これには、アウター・ミラーからの光の照射、アウター・ミラーの自動開閉機能、ルーム・ミラーおよび運転席側アウター・ミラーの自動幻惑防止機能等が含まれます。



駆動技術と充電技術

エフィシエント・ダイナミクスと電気自動車

BMW iX2 で 最高のドライビング・プレジャーを

新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 の駆動機構のポートフォリオを見れば、BMW グループがどのようにサステナブルなモビリティに向けた変革をプレミアム・コンパクト・セグメントにおいても一貫して推し進めているかがわかります。新世代モデルでは、3 気筒または 4 気筒の効率性の良い内燃機関が用いられています。さらに、第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーは、BMW のコンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペで初めて、ユーザー・レベルでのゼロ・エミッションのドライビング・プレジャーを実現します。

新型 BMW X2 に使用されるガソリン・エンジンおよびディーゼル・エンジンによる駆動機構は、新しい世代のモジュールであるエフィシエント・ダイナミクスのエンジングループに由来しており、ダブル・クラッチを装備した 7 速ステップトロニック・トランスミッションが標準装備されています。実際の走行において、駆動トルクは前輪駆動または BMW xDrive のインテリジェント全輪駆動で伝えられます。

ヨーロッパでは、市場導入には 4 種類のエンジンバリエーションがあります。多彩なラインナップは、完全電動型の BMW iX2 から最新世代の最強の 4 気筒エンジンによって駆動される、パフォーマンスに優れた BMW X2 M35i xDrive にまで及びます（詳細は新型 BMW X2 M35i xDrive の章をご覧ください）。2024 年には、さらに 48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジーを用いたディーゼル・エンジン（前輪駆動も全輪駆動も組み合わせることが可能）、および第 2 の完全電動型バージョンのモデルが登場します。

BMW iX2 : コンパクトな SAC でのプレミアム電気モビリティ

新しいコンパクトな SAC の市場導入の直後から、BMW iX2 xDrive30 が完全電動型の駆動方式で走り始めます。この心躍るような特徴によって、ユーザー・レベルでのゼロ・エミッションのプレミアム・モビリティに新鮮な拍動が起こります。新型 BMW iX2 xDrive30 のフロント・アクスルおよびリヤ・アクスルにそれぞれ配置される電気モーターは、合計で、テンポラリー・ブーストも含めてシステム出力 230 kW/313 PS を産み出し、システム・トルクは 494 Nm にまで達します。この高性能のドライブユニットはそれぞれ専用のパワー・エレクトロニクスとトランスミッションを有しており、それらはコンパクトなハウジングに取りつけられています。

ドライブユニット eDrive 5.0 M170SF のパワー・ウエイト・レシオはフロント・アクスルで、そして eDrive 5.0 M170SR はリヤ・アクスルで、それぞれ 1.5 kW/kg です。そこから、電動全輪駆動が生まれます。それは、この 2 つのモーターを正確にコーディネートして協調させて、卓越したトラクション、コース保持性能、および走行安定性を兼ね備えた、魅力的にして自然な加速をやってのけます。新型 BMW iX2 xDrive30 は、静止状態から 100km/h までの加速を 5.6 秒でやってのけます。その最高速度は電動で 180 km/h に制限されます。その 2 つのモーターを組み合わせた状態での電力消費は、WLTP に則った場合、100km あたり 17.7 ~ 16.3 kWh です。

モーターと同様、新型 BMW iX2 xDrive30 の高電圧バッテリーは、最新の第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーに由来しています。このバッテリーはアンダー・フロアに収納されます。場所を取らず、使用可能なエネルギーを 64.8 kWh 供給してくれます。これによって、そして効率の良い駆動機構によって、新型 BMW iX2 xDrive30 の航続距離は、WLTP に則った場合、417~449km に達します。さらに、BMW iX2 の空調システム向けヒート・ポンピング・テクノロジーによって、効率が良くなるため、航続距離も長くなるのです。

充電プロセスを迅速かつ効率的にするためのコンバインド・チャージング・ユニットとソフトウェアの最適化

新型 BMW iX2 xDrive30 には進歩的なコンバインド・チャージング・ユニットが装備されています。これは、変圧器、充電用エレクトロニクス、電流分配機能、ならびに駆動機能、高電圧機能、および充電機能の管理機能を高性能なコントロールユニットにまとめたものです。標準仕様で、最高 11kW の出力で交流電流を充電することができます。

このようにして、高電圧バッテリーはその容量の 0 パーセントから 100 パーセントまでの充電を、6.5 時間でやってのけます。オプションで、3 相交流電流の充電を、22kW の出力で行うこともできます。これによって、上記と同様の条件下での充電時間は 3 時間 45 分にまで短縮されます。直流電流の充電は、130kW の出力で行うことができます。これは、適切な充電ステーションを使って、高電圧バッテリーのエネルギー残量が 10 パーセントのとき、29 分でそれを 80 パーセントにまで充電することができます。この充電状態のレンジ内で、高出力充電ステーションを使えば、航続距離を 120km 伸ばすために必要なエネルギーを 10 分で充電することができます。

充電用ソフトウェア「Max Performance Charging」の最新バージョンを使えば、新型 BMW iX2 の場合、丁度新型 BMW i5 と同様に、まず充電時の効率が最適化されています。この充電プロセスは、高電圧バッテリーの充電状態

(SOC) が高い場合充電パフォーマンスがこれまでのような「階段型曲線」ではなく連続的に減少して行くようにすることを目標としています。これによって、充電曲線はゆったりとした形になり、その結果、充電時間がさらに短くなります。同時に充電用ソフトウェア「Max Performance Charging」は、充電開始時の SOC 値が高い場合（最高 50 パーセント）でも、最大の充電パフォーマンスを可能にします。

高電圧バッテリーの冷却および加温のための予測的温度管理によって、高速充電ステーションで充電のために停止する前に、適時に最適な温度に調節します。ナビゲーション・システムのルートガイドがアクティブになっている場合、充電のための停止の前段階でバッテリーの事前温度管理を自動的に行います。さらに、ユーザーはこの機能をいつでも手動でアクティブ／非アクティブにすることができます。冷却戦略が最適化されたので、直流電流の充電中に、高電圧バッテリーの耐久性をさらに改善するようにすることができます。BMW iX2 の充電プロセスにおいて、フル冷却と部分冷却とを実行することによって、高速充電中の高電圧バッテリーの「過冷却」を回避します。

アダプティブ回生機能と MAX RANGE 機能による航続距離の増加

走行中、アダプティブ回生機能が、残存電力を消費しすぎないように、または減速時などに電気エネルギーを回収することに貢献します。インテリジェントなネットワークのおかげで、ドライブ・コントロール部は、エネルギー回生の度合いをその都度の交通状況に合わせて調節するために、ナビゲーション・データやドライブ・アシスト・システムの各種センサの情報を利用することができます。アダプティブ回生機能を用いる代わりに、ドライバーは BMW xDrive メニューで、あらゆる交通状況における減速時のエネルギー回生の度合いを高、中、低に設定することができます。回生パフォーマンスを「低」にすると、セーリング機能を使用することができます。すると、アクセル・ペダルから足が離れるとすぐに、車両はドライブ・トレインから切り離され惰走します。アダプティブ回生機能を使って走行しているときでも、最適効率に貢献できる場合は、ドライブ・コントロール部はセーリング機能をアクティブにします。

走行モード B でアクセル・ペダルを介してのみ獲得される最大の回生電力は 60kW です。ブレーキ・ペダルを介した場合は、選択した走行モードには関係なく回生電力は最高で 120kW です。

マイ・モードのエフィシエントでの走行時、ドライブ・システム向けの新しい機能をアクティブにすることで、BMW iX2 の航続距離が増加します。コンフォート機能を縮小させるのとともに、ドライブ・パフォーマンスおよび最高速度を意図的に制限することで、MAX RANGE 機能を使って航続距離が最大で 25 パーセント増加します。

内燃機関のための 48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジー

内燃機関の領域でも、電化は効率の最適化に役立っています。先進的な 48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジーは、燃費および排ガスの値を削減するだけではなく、パフォーマンスの最適化にも役立ちます。力強いスターター・ジェネレーターとしての機能の他に、標準装備で 7 速ステップトロニック・ダブルクラッチ・トランスミッションに組み込まれている 48V 電気モーターは、内燃機関をサポートし、かつ負荷を軽減します。走行状態に応じて、このモーターは 14 kW/19 PS の駆動力および 55 Nm の公称トルクを提供します。これは発進時にも、そして中間スパートをする際にも、アクセル・ペダルを操作する度にはっきりと感じること

の出来る自然な反応です。さらに、内蔵されているスターター・ジェネレーターが、オート・スタート・ストップ機能およびセーリング機能を使用する際の快適性を向上させます。

内燃機関に追加の推進力を与え、スターター・ジェネレーターに必要なエネルギーを提供し、変圧器を介して車載エレクトロニクス向けの 12V ネットワークにも給電する 48V バッテリーは、ラゲージ・ルームの下に配置されています。このバッテリーはアダプティブ回生機能によって、減速時などに最高 15kW 充電されます。ドライバ・アシスト・システムのあらゆるセンサ・データ、ならびにナビゲーション・システムの情報がインテリジェントにネットワーク化されることによって、エネルギー回生の度合いが、ルートガイドがオフになっている場合でも、アクセル・ペダルの負荷が解除されるとすぐに、その都度の交通状況に応じて調節されます。

新型 BMW X2 sDrive20i 最新世代の効率的な 3 気筒ガソリン・エンジン

BMW グループのエフィシエント・ダイナミクス・エンジン群の最新世代のモジュールの 3 気筒ガソリン・エンジンが、新型 BMW X2 sDrive20i を駆動します。効率およびエミッション関連の諸元の改善に繋がるような刷新には、何よりも給気バルブを閉じるタイミングを早くするいわゆるミラー・サイクル、吸気ポートと燃焼室の刷新、ならびにアクティブコイルを用いた点火システムとそこに組み込まれるエレクトロニクスなどが含まれます。新しいデュアル・インジェクションによって混合気の燃焼が最適化されました。これまでの高圧インジェクションに加えて、燃料の一部が低圧システム経由で燃焼室に達するようになりました。さらに、ターボ・チャージ・システムとチャージ・エア・クーラーのパフォーマンスが向上しました。

48V マイルド・ハイブリッド・システムとともに、排気量 1500cc の新型 BMW X2 sDrive20i の駆動部がつくり出す最大出力は、125 kW/170 PS (4700-6500min⁻¹ のとき、最高で 115 kW/156 PS の内燃機関と、最高 14 kW/19 PS の内蔵電気モーターとの合計) であり、最大トルクは 280 Nm (1500-4400min⁻¹ のとき最高 240 Nm の内燃機関と、最高 55 Nm の内蔵電気モーターとの合計) です。新型 BMW X2 sDrive20i は、静止状態から 100 km/h に 8.3 秒で加速します。WLTP テストサイクルによって算出された、内燃機関と電気モーターを組み合わせた場合の燃費および CO₂ 排出量の値は、6.5~6.0 リットル/100km、ならびに 148~136g/km です。

さらに開発が加えられた新型 BMW X2 sDrive18d の 4 気筒ディーゼル・エンジン

新型 BMW X2 sDrive18d の 4 気筒ディーゼル・エンジンもまた広範に開発が加えられています。このエンジンには摩擦特性が最適化された焼入れを施したステンレス製のピストンが装備され、ピストンシャフトはグラファイトのコーティングが施され、特性値制御される電気ドライブを装備したアクティブなオイル・セパレータを備えています。さらに、燃費とエミッションの値を改善するために、2 段階式ターボ・チャージング・システムの効率も、コモン・レール・インジェクション・システムや EGR システムと同様に最適化されました。

新型 BMW X2 sDrive18d は、最高出力 110 kW/150 PS、ならびに最大トルク 360 Nm、排気量 2000cc の駆動部を有し、静止状態から 100km/h までの加速を 8.9 秒以内でやってのけます。WLTP に則った、内燃機関と電気モーターとの組み合わせによる燃費の値は、5.5～5.1 リッター／100km です。これに対応する CO2 エミッションの値は、145～133g/km です。

標準装備：ダブル・クラッチ装備の 7 速ステップトロニック・トランスミッション

新型 BMW X2 に搭載される内燃機関にはすべて、ダブル・クラッチ装備の 7 速ステップトロニック・トランスミッションが標準装備されています。滑らかで迅速な変速を行うことができるので、とても快適です。オートマチック・トランスミッションの最新世代は、完全電動式で動作すること、ギヤ・スプレッドが大きいこと、および内部効率が高いことなどが特徴です。エンジンを停止すると、トランスミッションは自動的に P ポジションに入ります。車両が傾斜した状態で停止した場合、このことがセンサによって検出され、自動的に電気式パーキング・ブレーキがアクティブになります。

ステアリング・ホイールに取りつけられる、オプションのロッカー・スイッチから、走行ギヤの切り替えに極めて自然な手動による介入を行うことができます。オプションの M スポーツ・パッケージとの組み合わせで、左側のパドルでさらにスポーツ・ブースト機能をアクティブにすることができます。これは、極めて敏捷な中間スパートをするのに適しています。



シャシー・テクノロジーとドライビング・ エクスペリエンス

個性的なチューニングによるエキサイティングな 俊敏性

新型 BMW X2 は、その成熟した車両コンセプト、ならびに先進的な駆動技術とシャシー技術で、プレミアム・コンパクト・セグメントにおいて、ブランド特有のドライビング・プレジャーをユーザーそれぞれに応じた形で提供します。先行モデルと比較して、敏捷性やカーブ走行のダイナミクスとともに、長距離走行での快適性が向上したことがはっきりと感じられます。そのための要件は、ホイールベースおよび車輪間の距離（輪距）を明らかに大きくし、重量と剛性を最適化したボディ構造を取ること、ならびに高性能なコンポーネントおよびシャシーの調整システムをモデルに特化して調整することなどによって満たされました。これによって全体的に、バランスの取れた、正確に調整することのできる、いつでも調和の取れた走行挙動が可能になりました。

シャシー技術を構成しユーザーそれぞれに応じた調整を行う際には、駆動機構のポートフォリオの多様性やユーザーの希望がそれぞれ異なるということを考慮しています。アクスル、ステアリング、サスペンション、およびダンパー、ならびにあらゆる駆動システムおよびシャシー・システムに組み込まれたアプリケーションを開発し調整する際には、完全電動型の BMW iX2 xDrive30 から極めてスポーティーな BMW X2 M35i xDrive に到るまで、すべてのモデル・バージョンにおいて、ブランド特有の走行特性が担保されることに特に注意しました。これらは、その都度の駆動方式や性能特性、および重量バランスにかかわらず、競合環境の中でも突出してスポーティーな、そして困難な走行状況でも正確に制御することのできる特徴を有しています。量産仕様の他に、コンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペ向けに、スポーツ・ステアリングを含むアダプティブ M シャシーが提供されます。

新規開発コンポーネントを装備したフロント・アクスルとリヤ・アクスル

新型 BMW X2 のフロント・アクスルおよびリヤ・アクスルの構造コンセプトは、先行モデルのものを踏襲しています。と同時に、車両前側に装備されているシングル・ジョイント・スプリング・ストラット軸のすべてのコンポーネントはほぼ完全に新規開発されました。新しい軸の動きと剛性の向上によって、敏捷性に富んだステアリング挙動と

駆動システムからの影響を受けにくいステアリング感覚が生まれます。油圧マウント・ホルダをアルミニウムで製造したことで、車両の重量が 3kg 減少しました。ステアリング軸を新規に調整したことで、カスターのストロークが先行モデルと比べて 15 パーセント高くなりました。これは、ステアリング・レスポンスに対しても、安定した直進走行に対しても良い影響を与えます。

すべてのモデル・バージョンに導入されているモジュール式のスリー・リンク・リヤ・アクスルは、スポーティーな走行特性向けに理想的な条件を提供します。そのモデルに特化した仕様は、極めて剛性が高く、固定接続されたリヤ・アクスル・キャリアと組み合わせられて、横方向に強い加速をする場合にも正確にホイールをガイドします。スプリングとダンパーの配置が離れたことによって、必要な取り付けスペースが小さくなり、それによって後部座席の乗員とラゲージ・ルームのためのスペースが取れるようになりました。

両方のアクスルに高いプリテンションのかかったスタビライザー・マウントが使われています。これは揺れを支えるだけではなく、動きのあるカーブ走行時にステアリングの正確さを担保するのにも役立ちます。新しい、摩擦関連の諸元を向上させ軽量化の面でも最適化されたホイール・マウントは、新型 BMW X2 の効率性の向上に貢献しています。

リヤ・アクスル・キャリアの構造が柔軟性のあるものなので、新型 BMW X2 はさまざまな駆動方式を組み込むことができます。BMW iX2 xDrive30 のリヤ・アクスル・キャリアは、リヤ・ホイールを駆動する電気駆動ユニットのための特殊なマウントを備えています。さらにそこには、高電圧バッテリーとの接続部も組み込まれています。

長距離走行での快適性を向上させるために、新型 BMW X2 のサスペンション・システムとダンパー・システムには、広範にわたる改良が加えられています。フロント・アクスルに初めてストローク対応型補助ダンパーが備えられました。これは補助スリーブを備えておりショック・アブソーバーに取り付けられています。小さな凹凸部を走行する際のボディの揺れを鎮め、カーブ走行時の安定性を担保します。

アダプティブ M シャーシ、周波数選択式ダンパー装備、15mm 低くなりスポーツ・ステアリングを装備

コンパクトな SAC のすべてのバージョンに対し、特殊装備としてアダプティブ M シャーシが提供されます。BMW iX2 xDrive30 および BMW X2 M35i xDrive の場合、このシャーシが標準装備されており、その他のすべてのモデルでは M スポーツ・パッケージとして提供されます。アダプティブ M シャーシは可変の、機械式制御による周波数選択式のショック・アブソーバーを備えており、これは敏捷性を求められる走行にも、快適な長距離走行にも役立つものです。

引き側で作用する追加バルブによって、ショック・アブソーバー内部の最大圧力が均されます。これによって、小さな凹凸上を走行する際の衝撃吸収時の快適な反応と、動きのある走行状態でのスポーティーなダンパー特性とが融合します。この特殊なショック・アブソーバーは、すべてのモデルにおいて、車高を 15mm 低くすることとセットになっています。

さらに、すべてのモデルにおいて、スポーツ・ステアリングがアダプティブ M シ

ヤーシの装備範囲に含まれています。この電子機械式サーボ・ステアリングは、ラックのギヤ・レシオをよりダイレクトに感じるのが特徴です。さらに、標準仕様と同様に、ここに車速感应式パワー・ステアリングであるサーボトロニックが含まれています。

極めて迅速かつ正確：アクチュエーター・コンティギュアス・ホイールスリップ・リミテーション

困難な走行状態における最大限の敏捷性と操作性を確保するために、新型 BMW X2 にもアクチュエーター・コンティギュアス・ホイールスリップ・リミテーションが装備されました。この、競合環境において類例を見ないシステムでは、トラクション・コントロール・システムがエンジン制御部に組み込まれています。これによって、ドライブ・スタビリティ・コントロール・システム DSC (Dynamische Stabilitäts Control) のコントロールユニットに到るまでの長い信号路がなくなり、従来のシステムと比べて制御介入が最高で 10 倍高速で行われ、介入の力加減も正確に行われます。これによって、アクチュエーター・コンティギュアス・ホイールスリップ・リミテーションは滑りやすい路面でも最適なトラクション、ダイナミックな加速時での卓越した直進性、そしてカーブでの高い走行安定性を担保します。全輪駆動のモデルの場合、駆動出力は状況に応じてフロント・アクスルとリヤ・アクスルとに分配されます。

同様にこのシステムは、エネルギー回生を行うような激しい制動時の走行安定性も担保します。これによって、ブレーキ時のエネルギー回生は、新型 BMW iX2 xDrive30 では、望ましくない路面状態でも最大限に行うことができます。

ドライブ・スタビリティ・コントロール DSC の機能範囲には、アンチ・ブロック・システム (ABS) およびダイナミック・トラクション・コントロール (DTC) の他にも、多様なスタビリティ機能ならびにスタート・アシスト機能が含まれています。パフォーマンス・コントロール機能は、状況に応じて駆動トルクをフロント・ホイールに分配して敏捷性を向上させます。

左右の車輪の摩擦値が異なる場合に路上で強いブレーキ操作を行った際の走行安定性を最適化するために、ステアリング・インパルスが算出され、進路を修正する際にドライバーをサポートします。さらに、電子機械式パーキング・ブレーキ機能が DSC システム経由でリヤ・ブレーキ・キャリパに組み込まれています。

標準仕様に組み込まれたブレーキ・システム、オプションの M スポーツ・ブレーキ・ユニット

新型 BMW X2 に採用されている統合型ブレーキ・システムが、卓越したブレーキ性能と最適化されたペダル・フィーリングを担保します。コンパクトなモジュールに、ブレーキ操作、ブレーキ・フォース・ブースト、およびブレーキ制御の機能がまとめられています。その都度必要なブレーキ圧力は、電気アクチュエーターによって作動します。この原理によってブレーキ圧力を生成する際のダイナミクスが向上し、明らかに迅速で正確なドライブ・スタビリティ・コントロールの介入を担保します。組み込まれているブレーキ・システムはブレーキ性能を極めて正確にドラ

イバーの希望に適合させ、ブレーキ・ペダルを介してドライバーに適切なフィードバックを返します。電気アクチュエーターを使用することによって、ドライバ・アシスト・システムから求められた短い制動距離を実現するためのブレーキ動作が実行され、アクティブ・セーフティーが最適化されます。

新型 BMW X2 に標準装備されているブレーキユニットは、1 ピストン・フローティング・キャリパ・ディスク・ブレーキで、フロント・ホイールとリヤ・ホイールに取り付けられています。M スポーツ・パッケージ・プロと組み合わせると、この SAC には M スポーツ・ブレーキ・システムが装備されます。フロント・アクスルの 4 ピストン・フローティング・キャリパ・ディスク・ブレーキと、リヤ・アクスルの 1 ピストン・フローティング・キャリパ・ディスク・ブレーキは、最適な、高い応力のもとでも安定したブレーキ性能を担保します。どちらの仕様のブレーキ・システムにも、電子機械式パーキング・ブレーキがリヤ・ブレーキ・キャリパに組み込まれています。新型 BMW X2 M35i xDrive は、モデルに特化した仕様の M スポーツ・ブレーキ・システムを標準装備しており、オプションで極めて性能の高い M コンパウンド・ブレーキ・システムを装備することができます。すべてのモデル・バージョンには、ブレーキ・キャリパ摩耗インジケータも標準装備されています。このインジケータは、オペレーション・システムのメニューにしたがって、ブレーキ・キャリパの残存使用可能時間を正確に表示します。

新型 BMW iX2 xDrive30 は、空気力学的に最適化されたデザインの 17 インチ・アルミニウム・ホイールを標準装備しています。BMW X2 sDrive20i および BMW X2 sDrive18d のモデルは、18 インチ・アルミニウム・ホイールを装備しています。

タイヤの直径が 710mm にまで大きくなり、走行快適性が向上し、側面からの外観も見事なものになります。M スポーツ・パッケージの構成要素としては 19 インチの M アルミニウム・ホイールがあります。新型 BMW X2 M35i xDrive は、20 インチの M アルミニウム・ホイールが標準装備されています。オプションで、18 インチから 21 インチまでのアルミニウム・ホイールが提供されています。19 インチまたは 20 インチのアルミニウム・ホイールのタイヤ幅は、先行モデルと比べて 20mm 大きくなっています。これによって、新型 BMW X2 のドライブ・ダイナミクスのポテンシャルが向上します。アダプティブ M シャーシと組み合わせると、ハイ・パフォーマンス・タイヤ装備が可能です。

さらに、新型 BMW X2 は、各ホイール別のタイヤ空気圧インジケータを標準装備しています。これが、万が一タイヤ空気圧損失の可能性がある場合に前もってそれを警告します。またこの他、デジタル式のタイヤ・ステータス・コントロールも装備されています。この競争環境の中でも類例を見ない機能によって、クラウドベースのアルゴリズムを使ってタイヤ空気圧の損失を車載のタイヤ空気圧コントロール・システムよりもずっと早く検出することができます。これは、BMW バックエンドで実現された診断機能に備えられている人工知能 (AI) によって可能になります。圧力損失の可能性については、My BMW アプリによって、また市場によって

は遠隔サービス・メッセージにもよって、推奨される対応方法とともにドライバーに知らされます。同様に、統計情報と AI メソッドによって、タイヤの摩耗状況の予測もすることができます。こうして推奨される最小トレッド深さに達するまで、タイヤがあとどれくらい使用できるかについての予測を作成することができます。デジタル式タイヤ診断では、技術的に対応する必要が生じた場合、ドライバーの希望に応じて自動的に通知されます。この情報は、市場に応じて、遠隔サービス・メッセージを装備した車両を介して、および E メールで、ならびに My BMW アプリを介して通知されます。

BMW X2 M35i xDrive

Mらしさを表現：ダイナミック、パワフル、表現力豊か



新型 BMW X2 の市場導入の直後から登場する、パフォーマンスに優れたこのモデルは、コンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペのダイナミックな方向性を強調します。新型 BMW X2 M35i xDrive はその M 特有のキャラクターで、デザインおよび走行挙動の領域で、モデル・プログラムの中でもトップに位置しています。このモデルは、BMW グループのエフィシエント・ダイナミクス・エンジンの新世代モジュールに由来する 4 気筒エンジンを備えており、その最高出力は、ヨーロッパで 221 kW/300 PS、そして米国およびその他の主要市場では 233 kW/317 PS に達します。

M 特有のシャーシ調整とインテリジェントな全輪駆動である BMW xDrive によって、卓越した性能特性が提供されます。新型 BMW X2 M35i xDrive は静止状態から 100 km/h までの加速を 5.4 秒でやってのけます。BMW キドニー・グリルの水平方向のバーやエキゾースト・システムの 2 つのエンド・パイプのペアなどの独特のデザイン特徴を以て、このモデルは圧倒的な存在感を示しています。インテリアには、M スポーツ・シートが備えられており、M のロゴの照明によって魅力的なドライブ・エクスペリエンスを提供します。

最大出力の新型 4 気筒エンジン

魅力的なパフォーマンスの動力源となるのは、最新世代のモジュールの最も出力の高い仕様の 4 気筒ガソリン・エンジンです。

先行する世代のエンジンとの比較において実現したイノベーションには、いわゆるミラー・サイクル、吸気ポートと燃焼室の刷新、ならびにカムシャフト制御、インジェクション、イグニッション・システム、および排ガスガイドなどの領域の刷新などがあります。

駆動機構の M ならではの特征には、新しい、極めて頑丈なクランク・ドライブ、冷却ダクト・ピストンへのオイル供給の最適化、ならびに新しいメイン・ベアリング・シェルおよび新しいメイン・ベアリング・カバーなどがあります。M ツインパワー・ターボ・テクノロジーの継続的開発には、ターボ・チャージ・システムとチャージ・エア・クーラー、ならびにロード・ポイント対応型の混合気形成のためのデュアル・インジェクションの性能の向上などが含まれます。

排気量 2000cc のエンジンの場合、エンジン・スピードが 5750～6500 min⁻¹ の範囲でその最高出力に到達します。最大トルクは 400 Nm で、エンジン・スピード 2000～4500 min⁻¹ の範囲で到達します。

ビジュアル的にも特徴のある M ならではのエキゾースト・システムの心躍るようなサウンドを伴う情熱的とも言える性能のほとばしりがそこに加わります。このコンパクトな SAC トップモデルのリヤ・エプロンの左右に組み込まれたダブル・エンド・パイプは、BMW M のハイ・パフォーマンス・カーならではの特徴です。

卓越したトラクション、魅力的なカーブでのダイナミクス：7 速ステップトロニック・トランスミッション、機械式ディファレンシャル・ロックおよび BMW xDrive

動力は、極めて高いシフト・ダイナミクスを有する、7 速ステップトロニック・トランスミッションによって伝えられます。ステアリング・ホイール脇のロッカー・スイッチで、M スポーツ・ブースト機能を使用することもできます。ドライバーが左側のスイッチング・パドルを 1 秒以上引くと、駆動システムおよびシャーシ・システムがすべて最大限のスポーティーさが発揮できるように調整されます。さらに停止状態から、最大限のダイナミクスによるトラクションを最適化した加速を行うために、M ローンチ・コントロール機能を使用することができます。

その他、7 速ステップトロニック・トランスミッションには、機械式ディファレンシャル・ロックが組み込まれています。これは、2 つのフロント・ホイール間の回転数補正を少なくするためのトランスバース・ロックとして作用します。全輪駆動システム BMW xDrive と組み合わせると、フロント・ホイールおよびリヤ・ホイール間で極めて可変性の高い駆動トルクの分配が行われるため、最大限のトラクション、走行安定性、およびカーブでのダイナミクスが担保されます。

アダプティブ M シャーシ、スポーツ・ステアリング、および 20 インチ M アルミニウム・ホイールを標準装備、オプションで M コンパウンド・ブレーキ・システムを提供

モデルに特化した BMW X2 M35i xDrive のシャーシ技術によって、M ならではのダイナミクス、敏捷性、そして走行挙動の安定性が得られます。標準装備されているアダプティブ M シャーシは可変の、機械式制御による周波数選択式のショック・アブソーバーを備えており、これは敏捷性を求められる走行にも、快適な長距離走行にも役立つものです。

さらに、パフォーマンスに優れた M 特有のシャーシ技術には、その他のバリエーションの BMW X2 と比べて車高が 15mm 低くなっています。モデル特有の車両前側の補強と頑丈なスタビライザー・マウントが、レスポンス挙動とステアリングの正確性を最適化します。標準装備のスポーツ・ステアリングによって、速度対応型のパワー・ステアリングであるサーボトロニックを使用でき、ラックのギヤ・レシオをよりダイレクトに感じることができます。

新型 BMW X2 M35i xDrive の高級感のある標準装備のその他の構成要素としては、20 インチのアルミニウム・ホイールがあります。オプションで、高級感溢れる Y 型スポーク仕様の 21 インチの M アルミニウム・ホイールおよびスポーティーなタイヤ装備を施すこともできます。

組み込まれているブレーキ・システムはブレーキ性能を極めて正確にドライバーの希望に適合させ、ブレーキ・ペダルを介してドライバーに適切なフィードバックを返します。新型 BMW X2 M35i xDrive はオプションで M コンパウンド・ブレーキ・システムと組み合わせることもできます。このブレーキ・システムには、フロントに 385mm の穿孔型ディスクを持つ 4 ピストン・フローティング・キャリパ・ブレーキ、リヤに 330mm のディスクを持つパーキング・ブレーキを含む 1 ピストン・フローティング・キャリパ・ブレーキが使われています。BMW M 社がハイ・パフォーマンス・モデル向けに開発した M コンパウンド・ブレーキ・システムは、快適性の高いブレーキ動作、正確な力加減の調節、そして困難な状況下でも安定したブレーキ性能をお届けします。さらに従来のブレーキ・システムと比べて重量が最適化されており、スプリングの施されていないコンポーネントが大幅に減少しています。ブレーキ・キャリパはグレーに塗装されており M のロゴが施されています。

M ならではのディテールを持つ個性的なデザイン

新型 BMW X2 M35i xDrive の卓越した性能特性は、個性的なデザイン特徴にも反映されています。このデザインは、冷却エアの需要を満たすことと空気力学的なバランスを取ることに関する、特にスポーティーな車両の技術的要件を志向しています。フロント・エプロンには大きなエア・インレットが備えられており、これが激しい負荷がかかる場合でも駆動部、トランスミッション、そしてブレーキ・システムをいつでも最適に温度調節します。特徴のある側面ロッカー・パネル、黒色の M アウター・ミラー・キャップ、中央部が狭くなっているモデル特有の M リヤ・スポイラー、およびディフューザー・インサートを装備したリヤ・エプロンが、新型トップモデルの性能特徴を明確に打ち出しています。

新型 BMW X2 M35i xDrive の BMW M キドニー・グリルには、M のロゴが施されています。さらに水平方向にダブルバーが配置されています。リヤ・エプロンに取り付けられている 4 つの、それぞれ 100mm の寸法を持つ大型のエキゾースト・システムのエンド・パイプと同様、これもまたハイ・パフォーマンス・モデル向けに BMW M 社が開発したデザイン特徴です。左右に分かれて配置されているエンド・パイプのペアは、同じシリーズにおける絶対的トップモデルとして、間違えようのない証として機能しています。

インテリアにおける M 特有のインジケータとオプションの M スポーツ・シート

M ならではのコックピットのデザインが、新型 BMW X2 M35i xDrive のインテリアの性能の高さをしっかりと体験するのに最適です。これには、明色のアルミニウム・ヘキサキューブのインテリア・バー、ロッカー・スイッチおよび赤色のセンター・マークのついた M レザー・ステアリング・ホイール、アルカンタラの上張りが施されたインストルメント・パネル、黒色（アンスラサイト）の天井、M エントリー・シル、および M ペダル群の他に、BMW カーブド・ディスプレイおよびオプションの BMW ヘッドアップ・ディスプレイに表示される M 特有のグラフィックが含まれています。

さらに、新型 BMW X2 M35i xDrive の標準装備には、青色のコントラスト・シー

ムが施されたアンスラサイトにヴェガンザ／アルカンタラ仕様のスポーツ・シートが含まれています。これらはオプションで、独特のダイヤモンド・ステッチの入ったレザー・ヴェルナスカ仕様でも提供されます。この他のオプションとして、M スポーツ・シートが提供されます。これは、多様な、電動式の調節機能がついており、運転席シートにはメモリー機能も備えられています。また、一体型ヘッドレスト、およびバック・レスト上部には照明された M のロゴも備えられています。

ドライバー支援システム 快適性と安全性のための最先端技術



新型 BMW X2 に標準装備される、またはオプションで装備することのできるアシスト・システムは、長距離の走行においても快適性と安全性を向上させます。このアシスト・システムは、さまざまな走行状態においてドライバーを支援し負荷を軽減します。新型 BMW X2 のハイライトには、自動走行および自動駐車システムが挙げられます。これらは可用性および信頼性の面で市場に出回っているものの中でも最良のものに数えられます。カメラ画像、ならびに超音波センサやレーダーセンサを使って収集したデータを用い、車両の周辺をモニタリングし、危険があれば警告し、ブレーキ介入またはステアリング介入を行って事故のリスクを軽減し、自動駐車や自動操車などを行います。リモートによるソフトウェアのアップデートによって既存の機能を改善し、ステアリング・アシストやレーン・コントロール・アシストなどの新しい機能をユーザーが新規にインストールすることができます（可用性は車両に取り付けられているハードウェアと市場の環境によって異なります）。

新型 BMW X2 に標準装備されているブレーキ介入付き正面衝突警告機能は、その最新仕様ではさらに事故回避機能を装備しています。この機能には乗り上げ警告、ならびにブレーキ機能付き歩行者および自転車警告、そして交差点警告などが含まれています。さらに、右折の際車両の進路と平行に後方または前方から接近してくる歩行者および自転車について警告します【訳注：これは右側通行の場合】。また、このシステムは左折の際の安全対策を提供します。対向車線を横切ろうとする際に接近してくる対向車がある場合、運転者には視覚的警告と音響的警告が与えられ、ブレーキ介入によって左折が中断されます【訳注：これも右側通行の場合】。同様に標準仕様の、ブレーキ機能付き速度制限機能、速度制限交通標識認識機能（追い越し禁止表示および予測機能付き）、手動のスピード・リミット・アシスト、危険回避アシスト、ならびにレーン逸脱警告（レーン復帰ガイド付き）などの機能も、快適性と安全性に貢献します。

新しい降車警告機能付きドライビング・アシスト（オプション）

オプションのドライビング・アシスト機能が新型 BMW X2 の標準仕様を補完します。これは、車線変更警告の際にもとの車線に戻るのをアクティブなステアリング・インパルスでドライバーを支援するものです。このドライビング・アシストには、後方衝突警告機能および後方横断交通警告機能も含まれています。これは、見通しの悪い方向にバックで操車する場合に衝突の危険を軽減するものです。

この他に、降車警告機能が車両停止時の安全管理にひと役買います。車両または自転車が高速で BMW X2 に接近してきて、車両のどちらかの側で（ドアを開くことで）衝突の危険がある場合、警告が出されます。ドライバー、または助手席乗員に、ミラーの LED またはアンビエント・ライトが点滅して危険があることを知らせます。また、音響信号も併せて出力されます。

レベル 2 の自動走行：ドライビング・アシスト・プラス

長距離走行での快適性と安全性を最適化するために、オプションのドライビング・アシスト・プラスが役立ちます。このカメラベースおよびレーダーベースのシステムは、ステアリング・アシストとレーン・コントロール・アシスト、ならびにストップ&ゴー機能付きのアクティブ・クルーズ・コントロール機能を有しており、それぞれ最高速度 180 km/h までの範囲で使用することができます。システムが検出した走行レーンを保持するために、修正的ステアリング介入によって、ドライバーに協力する形で支援します。アクティブ・クルーズ・コントロール機能は、望ましい走行速度を保ちつつ先行車両との適切な車間距離を保ち、必要に応じて車両が停止するまで新型 BMW X2 にブレーキ介入を行います。

SAE 国際標準 (SAE J3016) が定めるレベル 2 の自動走行を行うためのこの他のアシスト機能は、自動スピード・リミット・アシスト機能とアクティブ・クルーズ・コントロール機能を用いながらのルート・ガイダンス機能です。自動スピード・リミット・アシスト機能を使って、予定の走路に沿ったスピード制限を、交通標識認識機能またはナビゲーション・データをもとに登録された情報をもとに予測しながら考慮します。ルート・ガイダンス機能は、カーブ、ラウンドアバウト、交差点、インターチェンジなどに接近する際に、これを予測して状況に応じた減速を行います。同様に、システムは車両が市街地に進入する際に、前もって速度を適合させます。該当する区間を適切な速度で通過し終わったら、システムは新型 BMW X2 を再び、最高許容速度までの範囲内で、ドライバーが入力した希望速度にまで加速します。

快適性と安全性のためのコンプリート・パッケージ：ドライビング・アシスト・プロフェッショナル

オプションのドライビング・アシスト・プロフェッショナルと組み合わせると、ステアリング・アシストおよびレーン・コントロール・アシストも、アクティブ・クルーズ・コントロール機能も、最高速度 210 km/h までの範囲で使用することができます。アウトバーン上では、ステアリング・アシストおよびレーン・コントロール・アシストが、幅の狭い区間でもレーン保持を支援します。アクティブ・クルーズ・コントロール機能が、アウトバーン出口までの算出されたルートを保持するのに必要な車線変更を検出し、それを準備します。さらにこのシステムは、アクティブ・サイド・コリジョン・プロテクション機能付きのレーン・キープ・アシストを含んでいます。アクティブ・クルーズ・コントロール機能を使用する際は、ドイツでは、信号認識機能も備えられています。

その他、ドライビング・アシスト・プロフェッショナルの機能範囲には、優先順位および誤走行警告 (Vorfahrts- und die Falschfahrwarnung)、前方横断交通警告 (Querverkehrswarnung vorn)、緊急停止アシスト (Nothalteassistent) および選択したヨーロッパの国で使用できるエマージェンシー・レーン・アシストなどがあります。アクティブになっているシステムおよびその機能については、インストルメント・パネルのアシステッド・ビューに表示されます。コックピットのインジケータ群の中ほどに、そのための車両および車両周囲の三次元表示があります。

標準装備：パーキング・アシスト、バック走行カメラ、バック走行アシスト

新型 BMW X2 のドライバーは、駐車時および操車時にも、すでに標準装備されて効果を発揮しているサポートを受けることができます。例えば、フロント部およびリヤ部にセンサを持つアクティブ・パーク・ディスタンス・コントロール（PDC）です。これは、視覚的情報および音響的情報を出力するだけではなく、車両の前後左右にある障害物との衝突を回避するためのブレーキ介入も行うものです。バック走行カメラならびにバック走行アシストも、標準装備に含まれます。これは車両をバックで戻したい場合に、それまで前方を向いて走ってきていたコースを最長 50 メートルまでそのまま戻ることができるようにするものです。

この他、同様に標準装備されているパーキング・アシストは、その最新の仕様でさらに機能が拡張されています。これは、進路に対して縦向きまたは横向きの位置にある駐車位置を選択し利用する際に、ドライバーを支援します。駐車位置を選択し車両の駐車位置を定める際に、このシステムは他車だけではなく縁石まで考慮に入れることができるようになりました。この他、このシステムは駐車および駐車位置からの出発にも使用することができます。このときパーキング・アシストは、ステアリングだけを担当するのではなく、加速、減速、ならびに操車の際に必要なシフトチェンジもやってのけます。

オプションのパーキング・アシスト・プラスに備えられている機能を使えば、さまざまな状況を完全に概観することができます。選択したギヤに応じて、カメラ画像を使ってフロント・ビューまたはリヤ・ビューがコントロール・ディスプレイに表示されます。トップ・ビュー、パノラマ・ビュー、3D ビューを含むサラウンド・ビュー機能が、さまざまな視点から車両および車両周辺の 360° 画像を生成し、これも同様にコントロール・ディスプレイに表示されます。さらにドライバーは、リモート 3D ビュー機能を使って、車両および車両周辺の 3 次元ライブ画像を、自分のスマートフォンに転送させることができます。

パーキング・アシスト・プラスの機能範囲に含まれている BMW ドライブ・レコーダーは、ドライバ・アシスト・システムのカメラを使って車両周辺のビデオ画像を撮影し、これを保存し、それからこれを選択的に停車時にコントロール・ディスプレイ上で再生するか、または USB インタフェースを介してエクスポートします。このようにしてドライバーは、例えば移動中にとりわけ美しい風景や、保存しておきたい走行挙動などを、最長 60 秒の高解像度のビデオ録画にすることができます。アラーム・ユニットをアクティブにすると、リモート・セフト・レコーダーがアクティブになります。このレコーダーは、4 つのサラウンド・ビュー・カメラのビデオ画像を記録し、これを My BMW アプリを介してプッシュ・メッセージによってユーザーのスマートフォンに通知します。



ディスプレイとオペレーティング・システム、 コネクティビティ

新しい BMW オペレーティング・システム 9 は、 BMW デジタル・プレミアム向けに発表

数多くの機能を直観的かつ快適に使用するために、そしてイノベティブなデジタル・サービスを使用するために、新型 BMW X2 には最新仕様のインジケータ・システムおよびオペレーティング・システム BMW iDrive（「クイック・セレクト」機能付き）が装備されています。これは、BMW オペレーティング・システム 9 に基づくもので、BMW カーブド・ディスプレイならびに BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントと組み合わせられます。これによって、この機能はタッチパネルおよび自然な音声による操作向けに設計されています。さらに、このオペレーション・システムはステアリング・ホイールにマルチファンクション・ボタンを備えており、オプションで BMW ヘッドアップ・ディスプレイも装備することができます。正しい情報を正しい場所で提供することで、新型 BMW iDrive は集中した比類ないドライブ・エクスペリエンスを支援します。

BMW iDrive の最新世代は、新しく構成されたエントリー画面と迅速にアクセスすることのできる「クイック・セレクト」機能を提供します。これによって、改善された、コンシューマー・エレクトロニクスの領域のデバイスを志向したメニュー構造が、システムへのエントリーを支援します。BMW オペレーティング・システム 9 は BMW グループの独自開発によるものであり、Android オープンソース・プロジェクト（AOSP）のソフトウェア・スタックに基づいた初めてのプログラムです。これは、情報およびエンターテインメント向けの広範なデジタル・コンテンツを提供し、各機能のアップデート間隔が短く、数多くの特化したオンライン・サービスへのアクセス性能が最適化されています。これによって BMW オペレーティング・システム 9 は、グレードの高い個別化可能な追加のデジタル・サービスのひとつの選択肢としての要件をも満たし、ユーザーに BMW コネクテッド・ドライブ・アップグレードおよび BMW デジタル・プレミアムの新しいコンテンツを提供します。

「クイック・セレクト」付き BMW iDrive：同じ画面に機能を表示しクイック・アクセスでアクティブ化

インジケータ・システムおよびオペレーション・システムの中央に、BMW カーブド・ディスプレイがあります。これは、10.25 インチのインフォメーション・ディスプレイと、対角線寸法が 10.7 インチのコントロール・ディスプレイで構成されており、共通の、ドライバーの方に湾曲したガラス面にひとつのインジケータ・ユニットとして融合しています。

コントロール・ディスプレイには、BMW オペレーティング・システム 9 の新しいエントリー画面が、常にナビゲーション・システムのマップ・ビューか、またはそ

他のユーザーが個別に構成可能なコンテンツを表示します。ディスプレイのドライバー側の同じ画面に、各機能のアイコンが垂直方向に並んで表示されます。垂直方向にスワイプすると、表示内容がスクロールされます。このようにして機能を選択すると、クイック・アクセス機能である「クイック・セレクト」によって、サブ・メニューに切り替わることなくダイレクトに呼び出すことができます。調整を行い終えたら、コントロール・ディスプレイの下縁に表示されているホーム・アイコンをタップすれば、エントリー画面に戻ることができます。ホーム・アイコンの脇には、アクティブになっている限りにおいて、気象情報メニュー、All Apps メニューならびに Apple CarPlay®および Android Auto™へのダイレクト・アクセス・アイコンがあります。

メニュー構成が新しくフラットになったため、希望する機能や設定をアクティブにする作業がたいへん快適になりました。BMW カーブド・ディスプレイのような形を取ったハードウェアと同様、デジタル・コンテンツもまた慣れ親しんだ、ブランド特有のドライバー志向の方向性を取っています。走行中に直観的な操作ができるようにするために、グラフィック画面とメニュー構成は、統一がとれていてかつ特徴豊かな BMW グループ・デザインが開発した形を取っています。

「無線」によるアップデート：リモートによるソフトウェアのアップグレードと BMW コネクテッド・ドライブ・アップグレード

BMW グループは、500 万台以上の世界最大の無線でアップグレードのできる車両フリートを有しています。リモート・ソフトウェア・アップグレード機能によって、新型 BMW X2 は常に最新のソフトウェア・ステータスを保ちます。アップグレードには、無料での品質改善、または機能の追加、あるいは機能の改善が内容として含まれます（可用性は、国、車両モデル、装備仕様および車両の状態によって異なります）。

BMW コネクテッド・ドライブ・アップグレードでは、ユーザーはさらに、選択した機能を 1 ヶ月間無料でテスト使用することができ、それからその都度定められた期間の仕様を申し込むことができます。BMW コネクテッド・ドライブ・ストアで新型 BMW X2 向けに提供されている機能には、リモート・エンジン・スタートやハイビーム・アシストなどがあります（可用性は、国、車両モデル、装備仕様および車両の状態によって異なります）。新しく提供される BMW デジタル・プレミアムは、新型 BMW X2 向けには、BMW コネクテッド・ドライブ・ストアで申し込むことができます。

新しく提供される BMW デジタル・プレミアムでゲーム、オーディオ・ストリーミング、およびビデオ・ストリーミングを車内に

BMW デジタル・プレミアムを使えば、ユーザーは、サブスクリプションの形で、当該国で使用するのことができるアプリ、例えばオーディオ・ストリーミング、ビデオ・ストリーミング、ニュース、およびゲームなどを車内で使用することができます。オプションで提供されるものには、デジタル・サービスのデータ使用や BMW コネクテッド・ドライブ・ストアで取得したアプリなどがあり、そこにもオーディオ・ストリーミングやビデオ・ストリーミングが含まれています。

BMW デジタル・プレミアムの提供内容のハイライトは、新しい、自動車の領域では類例のない車内ゲーミングです。ゲーム・プラットフォームである AirConsole 社との協力によって、BMW はいわゆるカジュアルなゲームの数々をお届けします。これらのゲームは車両の停止中に楽しむことができます。例えば、BMW iX2 の高電圧バッテリーの充電のための待ち時間などを楽しく過ごすことができます。

AirConsole 社との協力でゲームをスムーズにお楽しみ頂くためには、ゲームのプレイヤー各自がスマートフォン（ゲームのコントローラーとなります）を持っていることと、あとは BMW カーブド・ディスプレイがあることだけが要件となります。車内で AirConsole アプリをスタートしたら、スマートフォンと車両との接続は、カーブド・ディスプレイに表示されている QR コードを読み取ることで構築することができます。そうすると、直ちにゲームを楽しむことができます。ゲーム中は、スマートフォンを介して無線でゲームをコントロールできます。このような類例のない構成になっているおかげで、複数の人が車内でゲームを楽しむことができます。開始時に楽しむことのできるゲームは 10 種類ほどで、競争型のゲーム、スポーツゲーム、クイズゲーム、そしてスキルゲームなどです。楽しむことのできるゲームの数は徐々に増えて行きます。

新型 BMW X2 では、BMW デジタル・プレミアムを使ってオーディオ・ストーリーミング・サービスを利用することもできます。さらに、ドライバーと助手席乗員は、車両停止時に数多くのビデオ・ストーリーミング（powered by Xperi TiVo）をコントロール・ディスプレイで楽しむことができます。ユーザーはこれを通じて、常に増え続けるビデオ・コンテンツにアクセスすることができます。これは例えば、ニュース、ライブ・ストーリーミング、および映画や連続ドラマなどのオンデマンド・ストーリーミングです。また、各国特有のコンテンツも利用できます。ビデオ・アプリは、米国、英国、韓国、フランス、イタリア、ドイツ、およびスペインで、Portalen von Pluto、Bloomberg Television、Deutsche Welle、Aljazeera、および TED などのコンテンツを、BMW デジタル・プレミアムで利用することができます。ドイツではさらに、ニュース番組「ターゲスシャウ」のアプリと人気のあるストーリーミング・サービス JOYN が提供されます。イタリアと米国でも、サービス開始の時点から各国特有のコンテンツが提供されます。ビデオ・ストーリーミング・プラットフォームのポートフォリオは充実の一途を辿っており、さまざまな国に広がっています。

車内ゲーミング、ストーリーミングおよびその他のオンライン・サービスのためのデータ転送、ならびに走行中に途切れることのない通話などのために、新型 BMW X2 は極めて高性能な無線受信機能を備えています。これを実現するのは、オプションのパーソナル eSIM との組み合わせによる、車載の 5G アンテナシステムです。最高で 4 基の 5G 無線アンテナによって、卓越したクォリティの通話とデータ伝送が可能になります。

ナビゲーション・システム BMW マップ向けに拡張された機能

クラウドベースのナビゲーション・システム BMW マップは、新型 BMW X2 に標準装備されている BMW ライブ・コックピット・プラスの構成要素です。目的地の

入力方法が簡単になったほか、迅速でダイナミックなルート算出ができます。これは、正確で、短いインターバルで送られてくるリアルタイムの交通データに基づいています。

オプションの BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルと組み合わせると、拡張ビュー機能を使用することができます。この機能はドライバー視点のライブ・ビデオ・ストリームがコントロール・ディスプレイに表示され、前後関係に関連する追加情報を蓄積し、それによってナビゲーション・マップを補完します。これによって例えば、見通しの悪い交差点などで、ビデオ画像に組み込まれているアニメーション化された方向を示す矢印によって、ルート計画に則った理想的な分岐点で進路を取れるようにドライバーを支援します。

BMW デジタル・プレミアムのもっと重要なメリットとしては、BMW マップの拡張機能が挙げられます。これは例えば、リアルタイム・トラフィック・インフォメーション (RTTI) サービスのリアルタイム交通情報では、ルートガイドがアクティブになっていなくても、マップの範囲全体に交通の流れが色つきで表示されます。さらに、建物や周辺要素をマップ・ビューに 3D 表示する機能では、駐車場の情報についても拡張情報が表示されます。よく訪れる目的地については、走行開始時にシステムが自動的に現在の交通状況について、そして予測される到着時刻をドライバーに知らせます。必要に応じて代替ルートの提案も行います。左折右折の指示と走行レーンの推奨は、現実に即して情報ディスプレイに、ならびにオプションの BMW ヘッドアップ・ディスプレイに表示されます。

ドイツおよびその他のヨーロッパ各国では、BMW デジタル・プレミアムが、サポートされている駐車ゾーン内では車両から直接駐車料金の決済を行うことができます。新型 BMW X2 は、駐車ゾーンに到着した段階ですでにサービスを利用できるかどうかを認識します。この場合、コントロール・ディスプレイに支払い機能について表示されます。さらにドイツでは、サービスに加入しているスタンドにおいて、給油が終わったらすぐに燃料代金を車両からデジタル式に精算することができます。このためには、駐車料金の精算時と同様に、車両アプリに保存されているクレジットカード情報を使用します。

BMW デジタル・プレミアムによるさらなるマイ・モードおよびその他の個別化の可能性

マイ・モードを音声操作またはボタン操作でアクティブにすることで、車両機能、インジケータ、および室内アンビエントの全体的相互作用を利用することができます。新型 BMW X2 にはパーソナル・モード、スポーツ・モード、およびエフィシエント・モードが標準装備されており、これを選択することができます。BMW デジタル・プレミアムではさらに、エクスペリシブ・モード、リラックス・モード、およびデジタル・アート・モードなど多様なモードに拡張されます。これによって、コントロール・ディスプレイでのインジケータの表示方法および個人設定による、その都度の走行状態、そのときの気分、および個人的な好みに応じた室内照明などをさらに付け加えることができます。

BMW デジタル・プレミアムが提供する、車両に近づいた際の光による演出は、ユーザー・エクスペリエンスを魅力的に拡張してくれます。ウェルカム・シナリオは、オーケストラの演奏のようなエクステリア照明とインテリア照明の光によるアンサンブルと、エントリーエリアの路面を照らして光の絨毯を提供します。ドライバーが車両から 1.5m の距離まで近づくと、車両は自動的に解錠されます。乗車動作をおこなっている間、BMW カーブド・ディスプレイにはコレオグラフィーによるスタートアニメーションが再生され、ドライバーを個人設定によるウェルカム・メッセージの表示されたウェルカム・ウィンドウで迎え入れ、そこにはまた役に立つ提案や注意事項も表示されます。BMW デジタル・プレミアムは、標準のコレオグラフィーの他に、3 種類の入念なコンセプトによるドライバーを迎え入れるための光の演出を選択することができます。選択肢に入るのは、たいへんエレガントな、活発な、そしてダイナミックな様式の光の演出です。

超広帯域無線テクノロジー（UWB）によって、車両への接近時に、キーまたは BMW デジタル・キー・プラスと互換性のあるスマートフォンの正確な位置が特定されます。

さらに、新型 BMW X2 は BMW デジタル・プレミアムと組み合わせると、自動化によって、頻繁に発生する状況下での快適性を向上させます。例えば、地下駐車場に入庫する場合、駐車券を受け取りやすくするために自動的にサイド・ウィンドウが開きます。

BMW iX2 の充電状態に対応した最適ルートガイド

BMW iX2 では、現在の航続距離が目的地までの距離をカバーできない場合、目的地を入力したらずぐに、クラウドベースのナビゲーション・システムである BMW マップが、充電状態に対応した最適ルートを算出します。入力した目的地にできる限り早く到着できるように、充電ステーションへの立ち寄りが計画されます。このとき、充電ステーションに到るまでのドライバーが希望する充電状態、および目的地に到るまでのドライバーが希望する充電状態は、5 パーセント刻みで調整することができます。システムは、ドライバーの希望に則って、選択したプロバイダの充電ステーションを優先して計画を立てます。

移動中に立ち寄った馴染みのない充電ステーションについては、希望に応じてさらに詳細な情報が提供されます。現在の可用性、対応しているプラグのタイプおよび支払い方法、ならびに衛生設備、食事のできる施設の有無、またはその都度の充電ステーション周辺の買い物のできる場所の有無などの情報が提供されます。また、計画されている充電ステーションでの停止時間、およびそれにかかる費用なども事前に表示することができます。

車両が計画された中間停止地点に近づくにつれて、使用予定の充電ステーションの可用性の状況が調査され、必要に応じて適時に代替選択肢を算出します。特に、ルートガイドで予定されている充電ステーションが、期待に反して使用できない場合、BMW iX2 は MAX RANGE 機能を使用します。この機能は、マイ・モードのエフィシエントで使用することができます。ドライブ・トレインおよび最高速度に一定の

制限を加え、コンフォート機能の縮小とも組み合わせて、充電容量 25 パーセントになるまで航続距離を伸ばすことができます。

ナビゲーション・システムのルートガイドで、直流電流の充電ステーションに立ち寄ることになった場合は、できる限り効率的な給電を行える様にするために、到着までの間に高電圧バッテリーが予熱されます。ルートガイドがアクティブになっていない場合は、このバッテリーのコンディション調整を手動でアクティブにすることができます。

終了した充電プロセスに関する詳細は、BMW バックエンドに保存されます。これによって、実際に使用した充電ステーションが正確に文書化され、ユーザーに充電状態に対応した最適ルートに最も良いと思われる充電ステーションを優先的に推奨することができます。

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントとの自然な対話

開発を進めた BMW iDrive の構成要素として、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントがさらなる機能を提供します。自然な言葉で語りかけることによって、例えばエア・コンディショナーの操作をすることができます。BMW デジタル・プレミアムと組み合わせることによって、2 種類の BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントの表示方法を使用することができます。これによって、相互作用的なグラフィック表示でサポートされた人と自動車との対話が、さらに活発かつ詳細なものになります。表示されるグラフィックは、例えば、音声入力の際にシステムが「音声入力をどのように理解したか」などを表示します。音声入力の内容が即時にテキストで表示されるので、音声認識アシストがどのコマンドを理解し処理したかがユーザーに伝わります。

このデジタル式のパートナーは、ユーザーの挙動を認識することができ、前後関係に対応しながら自発的に車両の使い方などについての提案を行います。BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは使用可能なコマンドと、「クイック・セレクト」の枠内で「パーソナル・アシスタント」ウィジェットにある、まだ使われていない機能についても提案します。

スマートフォンの組み込み機能を標準装備

新型 BMW X2 の標準装備には、Apple CarPlay® および Android Auto™ を介したスマートフォン組み込み機能が含まれています。スマートフォンと車両を WLAN 接続すると、サービスを直接インジケータおよびオペレーション・システムに組み込むことができます。ドライバーは、アプリの情報をコントロール・ディスプレイならびにインストルメント・パネル、ならびにインテリジェントに準備された形でオプションのヘッドアップ・ディスプレイにも表示することができます。

BMW ID と My BMW アプリを使ってパーソナライズ

新型 BMW X2 では、ユーザーは、BMW ID に基づいたユーザー・エクスペリエンスの自動的パーソナライズ機能を利用することができます。QR コードをスキャン

して初めて車両にログインすると、ユーザーのプロファイルが車両に保存されます。

個人設定と同期設定が読み込まれます。さらに、車両に関する情報が My BMW アプリに読み込まれます。ユーザーが何かをする必要は全くありません。これによってユーザーはこのアプリの広範な機能を利用することができるようになります。

汎用デジタル・インタフェースとして、My BMW アプリはいつでも、車両のステータス、充電状態、および航続距離などの情報を提供します。遠隔アクセス機能によって、例えば車両の現在位置の特定や、ドアの施錠および解錠、車両周囲の画像撮影などの機能を使用することができます。リモート 3D ビュー機能およびリモート・インサイド・ビュー機能を使えば、ドライバーは、車両周囲の、および車内の 3D ライブ画像を自分のスマートフォンに転送させることができます。

車両のサービス作業および保守作業が必要であるかどうかの管理は、My BMW アプリの快適な機能のひとつです。サービス作業の必要がある場合、ユーザーはプッシュ・メッセージを受信し、アプリを使って直接日程を設定することができます。サービスの全体的な流れは、アプリを介してチェック・イン、サービス・ビデオ、ステータスの追跡、そして支払いなどがサポートされます。

さらに、My BMW アプリを使って、目的地の住所をスマートフォンから車両のナビゲーション・システムに送信したり、コネクテッド・ドライブ・アップデートの加入、購入あるいは延長などを行うことができます。BMW iX2 の充電プロセスの制御も、My BMW アプリを使って行うことができます。エフィシエンシー・トレナー付きのマイ・ドライブ機能は、ユーザーのスマートフォンに走行済みのルート、燃費、平均速度などのデータと評価を送信し、もっと効率的に走行するための方法についてアドバイスを提供します。最高で合計 7 名のユーザーが同じ車両に My BMW アプリとそれぞれ個別の BMW ID で紐付けられることができます。My BMW アプリは、機能を選択しアップル・ウォッチで使用することもできます。

プロアクティブ・ケア：デジタル化時代の新しいサービス作業

プロアクティブ・ケアは、さまざまな種類のサービス作業が必要になった際のユーザー様との意見交換のための、BMW の新しいプラットフォームです。中心となるのは、車両のサービス作業の必要を人工知能を使って認識することの可能性と、実際にサービス作業の必要が発生する前にプロアクティブにソリューションを提供することです。

サービス作業の提供の最適化のためにデジタル・テクノロジーを用いるという、パイオニア的な役割を BMW が担うのは、初めてのことはありません。BMW のユーザーの皆様はすでに何年もの間、BMW テレサービスを使って、サービス作業関連のデータを車両から直接 BMW ディーラーに送信するというを経験しています。サービス作業の日程の調整も、同様にオンラインベースの方法、例えば車両から直接電話をかけたり、あるいは My BMW アプリを使ってすることができます。プロアクティブ・ケアによって、BMW は一歩先を行きます。コンディション・ベ

ースド・サービスによって、デジタル式のタイヤ空気圧診断およびバッテリー・ガードから、自動エマージェンシー・コールの枠内での事故検出機能に到るまで、新型 BMW X2 にはサービス作業やヘルプの必要性があることを確認し、ユーザーの希望に従って BMW にまで通知する数多くの方法が備えられています。このような事態が発生した場合、BMW はユーザーとコンタクトを取り、事態の緊急性に応じて適切な通信経路を通じて適切な解決策を提案します。旅行中に緊急のサービス作業が必要になった場合には、ユーザーには近くにあるディーラーを訪れるように提案がなされます。

サービス作業の必要性の種類に応じて、さまざまな通信経路によるコミュニケーションが取られます。例えば、コントロール・ディスプレイの車内通知、My BMW アプリのメッセージ、E メールを使って、または衝突や故障などの場合はロードサイド・アシスタンスの電話を使って、などです。プロアクティブ・ケアを介して、ユーザーはさまざまな種類のサービス作業を求めることができます。これには、ソフトウェアのアップデートによる問題解決を伴う遠隔診断や、オンラインでの支払い手続きを含むオンラインでの日程調整、または個人に特化したサービス・ビデオなどが含まれます（プロアクティブ・ケアのサービス範囲は、納品される国によって異なります）。故障の場合は、BMW が代替車両または牽引車両を手配します。その際、その車両の到着時刻をお伝えします。

価値ある車両キーとしての BMW デジタル・キー・プラス

オプションのコンフォート・アクセス機能には、BMW デジタル・キー・プラスが含まれます。この機能を使えば、セキュリティ面で最適化された超広帯域無線テクノロジー（UWB）を介して、それに対応する、OS に iOS または Android を使ったスマートフォン、またはアップル・ウォッチから新型 BMW X2 を解錠および施錠することができます。従来の自動車キーはもう不要です。車両を解錠または施錠するには、車両に近づくか遠ざかるだけで十分です。このときスマートフォンは、ユーザーのポケットに入ったままで OK です。

BMW デジタル・キー・プラスは、My BMW アプリを介して設定することができます。車両のオーナーはデジタル・キーをさらに最高で 5 人のユーザーに付与することができます。これによって、車両へのアクセス権も付与することになります。このとき、ユーザーが iOS または Android を OS に持つスマートフォンを使用しているかどうかは問われません。

車室内カメラで画像およびビデオを撮影し、My BMW アプリを使って車内の様子をスマートフォンで確認

天井部にある車内カメラは、停車中、走行中の写真および音声付きビデオで同乗者の様子などを撮影することができます。これによって、友人や家族などとの特別な瞬間を共有することができます。撮影内容は、コントロール・ディスプレイに表示されている QR コードを、WLAN で車両と接続されているスマホでスキャンすれば、簡単に転送することができます。

さらにユーザーは、My BMW アプリのリモート機能を使って、車内の様子を撮影

して自分のスマートフォンに送信させることができます。これは、車内の様子を見て鞆や何か他のものが車内に置き忘れられていないかどうかを確認するのに役立ちます。また、車内カメラは盗難防止レコーダーが作動した際にもアクティブになります。これは、盗難防止警報装置が作動を始めたらずくに、車内の撮影を開始します。オプションのパーキング・アシスト・プラスと組み合わせると、盗難防止警報装置が作動したら、外側カメラによる撮影を行います。

BMW の充電ソリューション

BMW iX2 用コネクテッド・ホーム・チャージング およびプラグ & チャージ・マルチ契約



BMW チャージングは、家庭や職場、あるいは移動中の充電を簡単かつ快適にするように、製品およびサービス関連のコンテンツを常に拡張しています。新しいコネクテッド・ホーム・チャージングのパッケージは、エネルギー経費を削減し、送電網の負荷を軽減し、化石燃料エネルギーの需要を削減するのに理想的な条件を形づくります。こうして、電気自動車のエネルギーシステムとの統合が常に推進され得る土台が形づくられます。

コネクテッド・ホーム・チャージングによって、BMW iX2 を家庭でインテリジェントに充電

オプションのコネクテッド・ホーム・チャージングのパッケージを使えば、家庭での充電プロセスをインテリジェントに制御することによって、ユーザーはエネルギー経費を削減し、さらに CO2 排出を最適化することができます。このインテリジェントな制御には、現在市場導入の第 1 段階である、いわゆる負荷最適化充電が含まれます。このとき充電出力は、その都度の家政に使用可能な出力に適合します。こうして、高電圧バッテリーの充電には、家政に使用されるその他の電装品との関係においての最大出力が提供されるので、車両のオーナーが自らそれに介入する必要は全くありません。これは何よりも、通常家庭のコネクタにあまり大きな出力が提供されない市場では、快適性と安全性が大きく保護されることになるでしょう。

さらに、コネクテッド・ホーム・チャージングを使えば、自ら産み出した太陽光発電による電力を充電に最大限使用することができます。このインテリジェントな制御によれば、ユーザーの太陽光発電装置で自ら産み出された電力は、家政で用いられる電装品への給電に用いられた後は、優先的に車両の高電圧バッテリーの充電に用いられ、電力網に供給されることはありません。エネルギー経費を削減することの他に、ユーザーはこの太陽光発電に対して最適化された充電方法を用いることによって、グリーン電力を効率的に利用することができます。

コネクテッド・ホーム・チャージングのパッケージには、新しい、包括的なコネクティビティで構成されている BMW ウォールボックス・プラス（インストール・サービスと配線を含む）ならびに My BMW アプリ経由での充電プロセス制御のためのデジタル・サービスの使用などが含まれています。

インテリジェントな充電マネジメントは、家庭での充電の最適化を行う場合に、負荷最適化充電か、太陽光発電最適化充電の 2 つのストラテジーのどちらかを選択することができます。コネクテッド・ホーム・チャージングのパッケージを使えば、ユーザーはインテリジェントな充電を行うことができ、さらにその他のシステム拡

張段階を利用することもできます。2024 年から、第 2 段階であるコスト最適化充電が利用できるようになります。これは、ヨーロッパでの政策的な共同パートナーである E.ON 社を介して、すでにエネルギー市場との接続を確立しています。これによってユーザーは、例えば電力市場での価格の揺らぎなどによって、動的な電力料金に基づいた利益を手にすることができます。インテリジェントな充電制御は、充電プロセスを可能な限り料金レベルの低いタイム・ウィンドウに設定することができます。

この計画を立てる際にはもちろんユーザー個人のデータや希望が考慮されます。例えば、計画されている次の出発時刻やそのために必要な最低限の充電量などです。ユーザーは制限事項なく自己車両を使用することができます。最優先されるのはモビリティです。さらに将来的な車両モデルでは、コネクテッド・ホーム・チャージングに他の機能が加えられたり拡張されたりするでしょう。

プラグ&チャージ・マルチ・コントラクト：複数の契約に基づくアクセスでコンパクトな認証。

完全電動型の BMW iX2 は、プラグ&チャージ・マルチ・コントラクトが使用できる仕様になっています。これによって、この機能と互換性のある公共充電ステーションでの充電がさらに快適になります。充電ステーションにアクセスする際に、アプリまたは充電カードなどによるデジタル式認証が不要になるからです。車両は技術的インタフェースによって自動的に認証されます (ISO15118-2)。

これについては、プラグ&チャージ機能のマルチ・コントラクト・オプションはその草分けであり、類例を見ないものです。ユーザーは最高で 5 件、異なったプラグ&チャージに対応するさまざまなプロバイダの走行用電力契約を車両にデジタル式で保存することができます。充電プロセスと決済に必要な認証は、互換性のある充電ステーションで自動的に行われます。車両が充電ステーションと接続されるとすぐに、電流だけではなく必要な契約データが通信用インタフェースを介して充電ケーブル経由で転送されます。電気駆動の公用車または社用車のユーザーは、この方法で例えば、ユーザーの雇用者が充電契約を締結しているプロバイダから、快適に電力を調達することができます。

固定のキロワット時間価格による公共充電ステーション向けの BMW チャージング

公共充電ステーション向け BMW チャージングが提供するものの基本的なメリットは、にヨーロッパで有効になっている料金で、各国固定の魅力的なキロワット時間価格で交流および直流充電が行えることです。このとき、充電インフラの事業者や充電ステーションに表示されている価格から影響を受けることなく充電することができます。BMW グループが加入しているハイパワー充電ネットワークである IONITY は、基本的にプラグ&チャージ機能に対応しており、BMW チャージング・ネットワークにも組み込まれています。同じブランドの新型電気自動車と同様、BMW iX2 のドライバーは、車両の新規登録後 12 ヶ月間、BMW チャージング・アクティブ・タリフおよび IONITY プラス・パッケージの月ごとの基本料金が免除されます。

BMW チャージングを介して、ユーザーの行うあらゆる充電プロセスが再生可能エネルギーの使用を支援し、それによって車両を使用することで CO2 排出の削減に貢献できることが担保されます。ヨーロッパの他にも、世界的に類似の当地市場に最適化した充電オプションが作成されています。BMW チャージングの公共充電ステーション向けに提供されるオプションは、1 回登録するだけで、ヨーロッパだけでも 29 ヶ国の 466,300 箇所の充電ステーションにアクセスすることができます。ドイツでは、87,000 箇所の充電ステーションにアクセスすることができます。公共の充電ネットワークの 95 パーセント超をカバーする BMW チャージングは、充電サービス・プロバイダの中でもトップ・グループに属しています。



製品と生産における持続可能性

BMW ビークル・フットプリント、責任ある原材料調達、CO2 排出量に配慮した生産、最先端技術 BMW eDrive 技術

新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 向けに、拡張された「TÜV 認証エコバランス」が生まれました。これは、2023 年 11 月の製造開始から適用されます。ビークル・フットプリントという名の新しい方法が導入された、新型 BMW 5 シリーズのリムジンと同様、これについてはここから呼び出すことができます。新型 BMW X2 および新型 BMW iX2 のビークル・フットプリントには、使用された原料、製造方法、および車両の利用フェーズに関する詳細な記載があり、サプライ・チェーンにおける社会的観点について拡張されています。

完全電動型 BMW iX2 は CO2 バランスのお手本

新型 BMW iX2 xDrive30 は、新型 BMW X2 sDrive20i に対し、現在の EU エネルギーミックスを使用する限りにおいて、ライフサイクル全体で、温室効果ポテンシャルが 30 パーセント低い（暫定値）内燃機関を備えているのが特徴です。再生可能エネルギーを充電に使用した場合、その温室効果ポテンシャルは、内燃機関を装備した BMW X2 sDrive20i と比較すると、ライフサイクル全体で 60 パーセント少なく（暫定値）なります。

第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーは、効率性と資源保護の観点で新しい尺度となり得るものです。電気モーターはその構造原理によって、レアアース金属の領域から採られた材料を使用しなくても製造できます。これによって、BMW グループはこの希少原料の可用性に依存することがなくなります。さらに、BMW グループは高電圧バッテリーの製造に必要な量のコバルトとリチウムを自ら購入し、これをバッテリー・セルのサプライヤーに提供しています。

二次材料および再利用のできる原料の使用

BMW グループが定義したサステナビリティ目標には、車両の製造に二次材料をより多く使用することが含まれています。当社は「サーキュラー・エコノミー」（循環経済）のビジョンを追求しており、その目標は原料をできる限り長く循環内に保ち、それによって、一次材料の使用を削減し、それと結びついている、環境負荷に繋がり兼ねない原料採取や、多量のエネルギーを使い多量の CO2 を排出する処理・精製などを削減することです。

コンポーネントおよび車両の製造に再生可能な方法による電力を使用

車両の製造に起因する CO2 排出は、2006 年以来 70 パーセント削減されています。国際的な製造拠点ネットワークに属する BMW グループの工場はすべて、2021 年以来バランスシートの CO2 ニュートラルに作業しています。

さらに、新型 BMW X2 は、2024 年から 100 パーセントがグリーン電力で製造される鋳造アルミニウム・ホイールに切り替えたことによって、環境保護に貢献します。この切り替えは、特に電力を使用するアルミニウムの製造時の電解工程とホイールの鋳造時に適用されます。これまで、サプライ・チェーンで発生する CO2 の排出の 5 パーセントがホイール部門によるものでした。これが、グリーン電力を用いた、よりサステイナブルな製造方法に切り替わることによって半分以上削減されます。

サステイナブルに施されるバイオマス・ベースのフローズン塗装

世界初の自動車メーカーとして、BMW グループのヨーロッパの工場では、化石由来ではなくバイオマス・ベースのマット塗装を採り入れています。新型 BMW X2 の選択肢にも入っているフローズン塗装もまた、このイノベティブな方法で製造されます。このいわゆるバイオマス・バランス塗装の材料物質としては、ゴミ処理場で得られるバイオゴミまたは通常ゴミ由来の再利用原料があります。これらが塗料内の有機的成分に取って代わります。このとき、サステイナブルな塗料は化学的には化石由来の原料を用いたものと同じであり、BMW グループが使用するあらゆる材料に対して定義した要件を十分に満たしています。

バイオゴミ由来のサステイナブルな塗料を使用することは、化石原料の使用量を削減するだけではありません。原油の採掘、搬送、および処理に関わる CO2 排出を回避することにも繋がります。

車両の利用フェーズにおける一貫した CO2 排出削減

新型 BMW X2 のすべてのモデル・バージョンには、それぞれ最新世代の完全電動型ドライブ、または最新世代の内燃機関の最新世代が備えられています。これらの開発は、個性的なモビリティをサステイナブルに展開するという目標の下での継続的イノベーション・プロセスの一部として、BMW エフィシエント・ダイナミクス の枠内で行われました。新型 BMW iX2 では、最新仕様のアダプティブ回生システムによって、効率性が向上し航続距離が伸張しています。予測を効かせた走行とアダプティブ回生システムによって、すべてのブレーキ動作の 90 パーセント超を、ブレーキ・パッドを使用することなくブレーキ・エネルギー回生システムだけで行うことができます。BMW チャージングのユーザーは、ヨーロッパ全域において、CO2 ニュートラルに発電された電力を充電します。

それ以外のモデルの場合はすべて、新しい BMW グループのエフィシエント・ダイナミクス・エンジン・ファミリーの内燃機関ドライブが適用されます。市場導入の最初から登場する BMW X2 sDrive20i 向けのガソリン・エンジンは、最新仕様の 48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジーと組み合わせられます。2024 年中には、マイルド・ハイブリッド・テクノロジーを搭載したディーゼル・バージョンが 2 モデル続きます。モデル・バージョンに応じて、大幅に標準仕様が拡張されたことによって増大した燃料消費が。これによって相殺されるか、または過補正されるほどです。ここには、新型 BMW X2 のボディおよびシャーシのインテリジェントな軽量化、ならびに空気力学的特性の最適化も貢献しています。エア・フローの最適化という観点での新規事項としては、ドア・ハンドルをボディ表面と面一に組み

込んだことや、アルミニウム・ホイールの空気力学的特性を最適化したことなどがあります。

さらに、すべてのモデル・バージョンにおいて、デジタル・テクノロジーも効率性の向上にひと役買っています。新しいエフィシエンシー・トレーナーはドライバーに常時走行状態とエネルギー・フローについての情報を提供し、これをアニメーション化してできる限り効率的に走行するための方法を提案します。このとき、新しいマイ・モードが全体的なエフィシエンシー・エクスペリエンスを提供します。インフォメーション・ディスプレイならびにオプションの BMW ヘッドアップ・ディスプレイに、状況に応じた負荷推奨が表示されます。パワー・メーターを使って、ドライバーに効率的な加速、減速、または定常走行についての注意事項が表示されます。このとき、例えば交差点や、市街地への接近、あるいは速度制限などを予見した走行をするために、カメラ・データとナビゲーション・データも使用します。走行スタイル分析機能は、加速の仕方やアクセル・ペダルを予見的に使用しているかどうかについての評価を提供します。効率性を最適化した走行をすると、航続距離ボーナスとなって還ってきます。